

会長のページ 暑さに思う（熱中症）	河野 雅行	3
日州医談 日本医師会 第1次未来医師ビジョン委員会の取り組み	大塚康二郎	4
はまゆう随筆（その1）		6
谷口 二郎, 細見 潤, 石橋 俊秀, 近藤 恭平, 山路 健, 平部 久彬, 山田 琢也, 中山 健, 井尻 裕司, 重永 哲洋, 宮尾 雄治, 市来 能成		
エコー・リレー（575）	横田 直人, 和氣 聡	18
メディアの目 救急車の逼迫に思うこと	阿曾 吉宏	19
身近なお困りごと相談室	高山 桂	20
国公立病院だより（県立延岡病院）	寺尾 公成	26
宮崎大学医学部だより（発達泌尿生殖医学講座－泌尿器科学分野－）	澤田 篤郎	28
専門分科医会だより（小児科医会）	高村 一志	29
社会保険診療報酬請求書審査委員会委員名簿（医科）		40
ニューメンバー	青山 剛士	41
診療メモ 臨床現場で遭遇する倫理的「ジレンマ」の特性とその対処法	板井孝壺郎	70
宮大医学部学生のページ		
部活動紹介 宮崎大学医学部ラグビー部	眞木 諒太	72

あなたできますか？（令和4年度医師国家試験問題より）	16
あなたできますか？（番外編）（令和4年度獣医師国家試験問題より）	17
表彰・祝賀	21
宮崎県感染症発生動向	22
各都市医師会だより	24
日医インターネットニュースから	30
医師協同組合だより	32
医師国保組合だより	34
追悼のことば	35
会員の異動・変更報告	36
ベストセラー	41
理事会日誌	42
県医の動き	48
ドクターバンク情報	49
行事予定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あとがき	80

お知らせ 第24回宮崎県医師会医家芸術展	15
令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	39
日州医事へのご意見・ご感想	53
第7回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	57
地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について	68
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！	69
都市医師会への送付文書	74
医療勤務環境改善支援センター	78
日州医事原稿募集のお知らせ	79

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：油絵〕

劔岳へ

年数回山に登ります。体力のあるうちに劔岳に登ろうと思い、ハーネスを買って向かいました。雪渓を横切り、劔岳の大きな岩峰が眼前に迫ってきたとき急に緊張してきました。カニのタテバイ・ヨコバイ…。

そんなときふと前方に見つけた水たまり。青空を映した水面を眺めていたらスーッと心が落ちついてきました。

宮崎市 あさ浅 み見 めい鳴 こ子

会長のページ

暑さに思う（熱中症）

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

暑い日には冬の寒さが恋しく、寒いときには逆を想うように人間は勝手なものです。若い時分には平気であった暑さ寒さも歳を経るごとに堪えるように感じます。温暖化の影響で夏の平均気温が上がったのでしょうか。遠い昔のことで定かではありませんが、小学校時代の夏休み日記には真夏の当日最高気温は30度～31度と記載した記憶があります。ニュースでは本年5月17日に前橋市で36度、県内美郷町で32度でした。盛夏になれば地域によっては40度近い記録も報告されています。体温よりも高い気温では身の置き所がなくなります。

国によれば、昨年熱中症救急搬送が7万人超、死亡者が千人超でした。体が暑さに慣れていない時期（暑くなり初め）の発生が多く、高齢者に多いようです。熱中症の発生が増えているのは、夏、冬ともエアコンの普及で、体が暑さ、寒さに順応できなくなっているのではないのでしょうか。食物に季節感が少なくなっているように夏・冬の感覚も鈍くなっているのかもしれませんが、しかし、エアコンも気ままには使用できません。冷やし過ぎは健康によくなく、光熱費も考慮する必要があります。県医師会館では真夏でも室温は28度に設定しております。高齢者は室内でも熱中症で倒れる例が後を絶ちません。電気料金の問題でエアコンの使用を控えて熱中症になるケースもあるそうです。電気の供給と料金いかんによっては原発も再討議が必要になるかもしれません。以前は夏痩せと簡単に説明されていましたが、暑さによる食欲不振、易疲労感、等々があれば要注意です。手軽な対策として、古来よりの知恵である水撒きや夕方の汲み置きによる温水での行水も有効ではないのでしょうか。

往年のスポーツは一部我慢大会の様相でした。昨今はスポーツ現場での熱中症対策として飲料や氷の確保、クーリングテントの設置がなされているようですし、熱中症に対する講演や研修会が開かれて啓蒙・注意を喚起されています。先年の東京オリンピックのマラソン競技は、涼しい北海道で、しかもスタート時間を繰り上げられました。そのような対策で真夏の実施にもかかわらず事故はなかったようです。同様にスポーツの練習や試合のスケジュールの見直しも必要になり、子どもたちの健康を守るために、夏休みの延長や前倒しも考慮すべきかもしれません。

皆さん、熱中症に注意して元気で夏を乗り越えましょう。

（令和5年6月14日）

日州医談



日本医師会 第1次未来医師ビジョン委員会の取組み

宮崎県医師会 常任理事 おお つか こうじ ろう
大 塚 康二朗

はじめに

ビジョン委員会は、各ブロック（九州3人）から選出された50歳前の若手医師17人が、日本医師会長からの諮問に対し、1年間を通しさまざまな業界の方々と協議、検討を重ね、医師会の未来に対し若手の医師の目線・発想で答申を作成していく委員会である。私の日本医師会ビジョン委員会参加は今回で三期目であり、前回までは1年間の委員会が終了した「答申」として日州医談に報告した。今期は、令和4年12月16日松本会長より「若手医師に期待するものとは何か」の諮問をいただいた。まだ5か月の途中経過であるが、今期の未来医師ビジョン委員会委員の諮問に対する方向性に関してまだ粗削りであるが記述する。

今回参加の委員の多くは、（医師会執行部も危惧していることと同様に、）医師会の存亡に関する危機感を持っている。コロナ禍の3年間、日本医師会を中心に懸命に国民の健康を守ってきたにも関わらず、必ずしも高い評価が得られておらず会員数は減少傾向にある。このような状況が続けば、若い医師は医師会の魅力を更に感じるができず入会をしなくなり、かつ医師会に代わるような別の民間団体の参入を許す結果になってしまう。医師会に入会すれば安心して医療が続けられると若手の医師が思えるような答申を作りたい思いがある。

医師会とChatGPT

2022年11月のChatGPTの出現は、社会に大きな影響を与えている。ChatGPTとは、人工知能の研究開発機関「OpenAI」により開発された高度なAI技術によってユーザーが質問した内容に対し、人間のように自然な対話形式でAIが答えるチャットサービスである。その利便性により日本においてメガバンクや証券会社などの経済団体や多くの民間企業が導入の表明を行っている。また自治体や個人レベルでも使用頻度が高まっている。ビジョン委員会においては、医師会業務にChatGPTを導入することにより、医師会事務局の事務作業が軽減することで働き方が変わり、より効率的な医師会運営に利用できるのではないかと？最新の仕組みを組み入れることが日常的にIoT（Internet of Things）に触れている若手医師の医師会入会に寄与するのではないかと？などの前向きな意見も多い。しかしChatGPTに対しイタリアやドイツ、フランスでは使用される情報の正確性への疑問、個人情報漏洩や著作権法の問題もあり規制に入っている国も出てきており、個人の医療情報漏洩が起これば重大な問題が生じる。日本政府は令和5年4月現在方向性を明確にしていない。教育現場においても、子どもたちの思考能力・文章校正能力が欠如し、将来的な自由な発想ができなくなる可能性を示唆する一方、教員の作業効率上昇や授業支援ツールとして働き方改革の

一翼を担う可能性もあるため賛否が分かれる。いずれにしろAIの革新は止まることはないためChatGPTを導入すべき時期が来る可能性は高い。私自身は、医師会で運用するのであれば、政府が設置するAI戦略部門と同レベルの日本医師会独自のAI対策部門・広報部門を作るなど、ハードの整備や適切な運用のマニュアルを作る必要があると考える。答申作成時までに活発な議論を行い意見集約していきたい。

情報共有システムの多様性

ビジョン委員会は、従来日本医師会総務課より設置されたVision-mlというメール形式で委員同士の交流の場を作っていた。本委員会に関してはそれに加え、LINEのグループライン機能を使い情報共有が行われている。使用する先生の傾向にもよるが、形式上の連絡事項はメールが多く、気軽に情報提供したい場合、絵文字やスタンプ機能が多彩なLINEが多く使われている。どのツールを使ってもインターネット経由であればリスクは同様にあると思われるが、私自身はメールの使用頻度が多い。これは自分が使うツールの使用頻度・知識量に関与しており、なんとなくメールの方に安心感がある。AIの導入やIoT利用に関して賛否が分かれる一因には、情報不足すなわち未知への恐れがあるかもしれない。学者でもある我々医師は、知識に対して常に貪欲である必要がある。

日本医師会委員会の会議の在り方

5月8日、新型コロナウイルスが感染症法の5類に変更された。多くの医療従事者は社会の変化に戸惑いつつも医師会主導の下、増加傾向にあるコロナウイルス患者に対応している。コロナ禍の2020～2021年はほとんどの委員会がWeb開催となり、2022年に入りハイブリッド開催が導入された。2023年以降は対面開催が

主流と考えるが、会議の開催方法に対する個々の医師の意識を変化させるには十分な時間であった。前期までのビジョン委員会は、1年間で合宿1回+日本医師会館開催6回（2時間/回）で計画され、答申を完成させる流れであった。しかし、これまでの開催の回数・時間では、各委員の意見を十分に聴くことができず答申に反映しないのではないか？という提言が多く委員から出た。しかし県をまたぐ日本医師会館での対面開催の増加は、各委員・医師会事務局の体力的・経済的負担を強いることとなる。そのため経費のかからない形でのWeb開催を付加してはどうかという議論がなされた。つまり対面開催の回数は現状どおり、Web開催時は委員たちの自由闊達な議論のみ行い、医師会事務局は最低限の業務のみお願いする形式である。今回Microsoft teamsというオンライン会議システムを使い、5月10日試験的に意見交換会（2時間、報酬なし）が開かれたが、参加委員の反応はおおむね良好であった。Web会議についての私自身の見解であるが、Webのみでは相手の人となりを知ることは困難と考えており、形骸的な人間関係にしかならない恐れを感じている。しかし対面開催で人間関係を構築した後のWeb開催であれば、機微な感情の変化が分かりにくいデメリットを時間的・経済的メリットが上回るよいシステムと考える。

おわりに

今回の寄稿に関しては、ビジョン委員会の体制の変化の解説や、まだ検討が始まったばかりの内容であり今後議論を重ね成熟したものになると考えている。答申として完成する前の各委員の葛藤を含め記述することで、医師会の先生に意見をいただきビジョン委員会にフィードバックしていきたいと考えている。

は ま ゆ う 随 筆

その1

(7, 8月号に分けて掲載しております)

白いドア

宮崎市 たにぐちレディースクリニック たに ぐち じ ろう
谷 口 二 郎

私は海が大好きだ。だから月に2, 3回は海を見にドライブに行く。幸い宮崎には日南海岸があり、行先はいつもそちら方面である。国道220号線があり海岸線に沿ってずっと走っている。だからそこを走れば海を眺めながらドライブができるということになる。終点はいつも南郷の道の駅。ここは6月になるとジャカランダという木の枝に無数の紫色の花が咲く。その時期にはジャカランダ祭りも開かれ大賑わいになる。びっくりしたのはこの公園にあるポストである。それは赤ではなく、ジャカランダの花の色で塗ってあるのだ。

その道の駅から上に登っていくと熱帯の植物がたくさんある山道が整備されていて、本当にジャングルに入ったような気分になる。頂上には大きな岩があり、そこに立つと日南海岸の沖に浮かぶ無数の島が眺められる。実に南国的な風景である。都会から来た人にとって本当に心が洗われる風景である。

その道の駅に新しく名所ができた。県建築士会日南支部と日南高校美術部の共同で作られた飴肥杉の白いドアである。それは最近大ヒットした『すずめの戸締り』というアニメ映画に出てくるドアで、そのドアを開けて災難を救うというストーリーである。

実際行ってみると展望台のある広場に設置されている。最近はマスコミでも報道され大人気で、たくさんの人が訪れているという。実際その前に立つと行列ができていた。確かにドアがあり、開け閉めできるようになっている。その

ドアを開けるとその向こうにはコバルトブルーの海が見えるというロケーションとしては最高である。アニメはまだ見ていないのでそのイメージが分からないのだがなんとなく分かる。そのドアがオーラを発しているのである。これからもきっとたくさんの人がこのドアを楽しみにして来られることだろう。今はSNSの時代。あっという間にそれは広がる。きっと日本全国の若い人にそれが拡散され見られているのだろう。

考えてみると我々はいつもこのようなドアを毎日開けて生きているのかもしれない。開けたらそれは幸せな日だったり、悲しかったりするが、その毎日を過ごすことが人には大切なことなのである。開けるたびに色々な経験をする。それが人生なのだ。さあ、そこに何があるのか、何が待っているのかワクワクしながらそのドアの前に立ってみよう。

P.S.お腹ペコペコだったので、ついでに宮崎マンゴーのパフェをいただいた。500円。とても美味しいパフェだった。元気が出た。



満開になったジャカランダの花



体に染み渡る宮崎マンゴーアイス



魔訶不思議なすずめの戸締り

ライフレビューのススメ

宮崎市 ウェルフェアみやざき総合研究所 ほそ み じゅん
細 見 潤

ある年齢に達したときに、過去を振り返るのは自然なことで、決して年寄りくさいことはありません。米国の精神科医ロバート・バトルは自分の人生を振り返りながら、もしも過去に「未解決な心理的葛藤」があれば、それに向

き合って、「再統合」していくことはとても価値あることだと言っています。

「未解決な心理的葛藤」とは、たとえばとても嫌な思いをした、とても辛い思いをしたといった出来事があると、私たちは怒りや恨み、悲しみ、虚しさ、後悔、自己否定といった感情を持つものです。そしてついその感情に蓋をしまいがちですが、「再統合」とはそれらの出来事を自分の人生にとって意味あるものとして整理・清算し、必要があれば穴埋めをし、今日までそのような思いを抱えながらもサバイバルしてきた自分に納得し、評価していくことです。ライフレビューはこの「再統合」を促し、それによって私たちは穏やかに年を重ねることができ、最終的には穏やかな死を迎えられると言われています。

ところで私は今年3月に私のライフレビューをコミカルな小説風に仕上げた「ウォーク・ドント・ラン」という本を出版しました。それを通して、私自身がライフレビューの素晴らしさを実感するとともに、大げさですが「もういつ死んでも悔いはない」といった気持ちになりました。冗談交じりにそう妻に話すと、「何をバカなことを言っているの!」と、鬼の形相で叱咤激励されましたが、3年前に古希という人生の節目を迎えた私にとって、ライフレビューはそれほど大きな価値を感じさせてくれるものでした。

還暦や古希など、節目を迎えた先生方には「ウォーク・ドント・ラン」(県内書店、Amazonで販売中)を是非読んでいただき、ご自身のライフレビューに挑戦してみたいはいかがでしょうか。それまでとはまた違った風景が見えてくるかもしれません。

併せて、ライフレビューの素晴らしさを患者さんはじめ、多くの人々に広めていただければ幸いです。

延岡植物園と御崎馬

延岡市 井上病院 ^{いし}石 ^{ばし}橋 ^{とし}俊 ^{ひで}秀

延岡植物園

令和5年4月10日(日)に延岡植物園に初めて行った。子供たちも数十人が来園していた。設置してある遊具（ブランコ、滑り台など）を使って遊ぶ親子、広場でバドミントンやサッカーを楽しむ親子が目についた。

植物を見物していたのは、夫婦連れが多く、なおかつ年配者が多かった。パネルで大まかな植物の配置が示されていたので皆が適当に散策していた。

色とりどりのパンジー、ガーベラ、紅白のツツジ、桜、レンゲソウ、ロウバイ、菜の花、アジサイ、ヤマボウシ、シバザクラ、ツバキ、温室の中にはラン、サボテンとバナナなど。一番気に入ったのは、展示されていたガーデニングコンテスト作品だった（写真1）。木には名前が記載されたプラカードが所々に表示されていたが、花の名前の表示は少なかった。アジサイの花の芽があちこちにあった。5月になると、アジサイの花が一面に咲き誇るそうなので、再訪を誓った。

5月14日(日)に再訪したら、生駒高原で見かけた「ネモフィラ」が咲き乱れていた。

御崎馬

令和5年4月22日(土)に鹿屋市内で高校の同級生が小児科（鹿児島大学医学部を卒業後、鹿屋市西原に松田こどもクリニックを開業）をやっているのので、途中で挨拶に寄った。学会も新型コロナウイルスの影響が大きくて、約6年ぶりの再会だった。

その後、串間市の都井岬まで足を延ばした（鹿屋市から約90分掛かった）。岬場屋上の唯一の出入り口である「駒止の門」には管理人が常駐していて、管理費の一助として400円を徴収していた。そこから車で5分くらい進むと、

右手に100台分くらいの駐車場があり、すでに数十人の先客がいた。大人だけでなく5～6歳くらいの子も来ていた。

馬の方も慣れたもので、数メートル近くに人がいても暴れなかった。馬の親子が草を静かに食んでいた。見物客は、馬の様子を眺めたり、写真を撮ったりしていた。

牧場内の斜面を登ってみた。かなりの急斜面で難渋した。馬の親子にできるだけ近づいて写真を撮影した。この日は結構風が強くて斜面に立っているだけでも足をしっかりと踏ん張る必要があった。馬の写真を撮影しようとする度風で手を動かされてピントが合わなくなる度に再設定した（写真2）。

岬牧場の馬のことを特別に「御崎馬（みさきうま）」と呼んでいる。約50ヘクタールの岬に約97頭が確認されている。CAPE TOI MAPによると、絶景ポイントが何か所もあり、若山牧水歌碑（日向の国 都井の岬の青潮に 入るゆく端に ひとり海見る）、都井岬灯台、御崎神社、国民宿舎や民宿などがある。

帰りに「宮崎山形屋」に寄った。この日には長崎物産展が開催されていたので、自分用に「ハトシ」を買った。友人の土産用に「びわゼリー」も合わせて購入した。ちなみに、「ハトシ」とは「海老のすり身」などを「食パン」で挟み、油で揚げたものである。



写真1：ガーデニングコンテスト作品と筆者



写真2：御崎馬の親子

家族と旅をする

宮崎市 大江整形外科病院 ^{こん}近 ^{どう}藤 ^{きょう}恭 ^{へい}平

今年45歳となり、人生も折り返しを過ぎてまいりました。病院の人事労務問題に頭を抱えながら、日々晩酌と犬の散歩を楽しみに過ごしています。今年よりコロナ禍で丸3年間自粛していました家族旅行の再開を計画しています。

学生のころは、ラグビーと麻雀に明け暮れておりましたが、医師となって以降は、仕事最優先の生活スタイルとなりました。妻の勧めで、新婚より年1回は家族で旅行を継続してきました。新婚旅行時は、私が仕事の疲れで昼寝ばかりして、妻にひどく叱られたことが何よりの思い出です。それから1年1年と仕事に折り合いをつけながら家族で旅をしてまいりました。いつしか家族と旅をすることの素晴らしさを実感できるようになりました。こどもとの思い出は何歳のころに、どこどこに旅したなどの記憶が真っ先に蘇ります。

最大の思い出は、ツアー旅行でパリを旅した際のことです。夕食まで少し時間があつたので、家族3人だけで街散策に出かけました。こともあろうに、帰り道がわからなくなり、走り回ってようやくホテルにたどり着きました。

30分以上遅刻したため、ツアー客の皆様には大変申しわけなく思っています。今であれば、ポケットWi-Fiとスマホでスマートに旅ができたと反省しています。

楽しみの家族旅行もコロナ禍で自粛となりました。また、一人息子が高校2年生となり、精神的自立も果たし、今年を最後に次はいつ一緒に旅ができるかわからなくなってきました。若いころは、いつでも家族旅行ができると考えます。しかし、人生は「光陰矢の如し」です。家族と旅に出ることは、人生を華やかに彩る素晴らしい出来事だと思っています。

～Let's go on a trip with your family～

そこはかと思ういや確実に思う

都城市 山路医院 ^{やま}山 ^じ路 ^{たけし}健

そろそろ免許返納したい。

田舎で1人暮らし。80歳過ぎたのでどうしましょう？ 運転して事故したら心配だけど、あちこち病院にも行かないといけなし。バスがあるじゃない。いや路線縮小で走ってないし、便数も少ない。んじゃ！ タクシー！ 年金暮らしではキツイ。それにタクシーは田舎にいない。8 kmぐらいかけて街からやって来る。どうしましょう？ 免許更新するしかないですね。合併したら田舎は不便になるばかりです。ぼつんと一軒家を見て大都会の人は憧れるが、老後は便利な街に住みたいと思う田舎者です。

来てほしくないが、南海トラフ地震で大津波が来ると海岸側の街は消える。どこまで、どこに逃げたら助かる？ 自衛隊・警察・救急・自治体との連携は大丈夫かな？ 血液備蓄も分散した方がよいなあ。地震で道路破壊するし。きっと津波が来ない地域での備蓄が鍵となるでしょう。それと個々が7日分の水・食料・カセットコンロかな。備えあれば希望が持てる。

後期高齢の医師

宮崎市 平部整形外科医院 ^{ひら}平 ^べ部 ^{ひさ}久 ^{よし}彬

このごろ、頭髮が少なくなり、背中も少し丸くなってきました。夫婦2人で診療所を行っていたこともあり、夫婦整形外科と言う人もいたのではないかと思います。相変わらず実験好きで、いろんなことをしています。当初はリウマチの患者さんのことを宮崎で発表し、その後は骨粗鬆症について検討し、宮崎県医師会医学賞をいただきました。その研究で東京と神戸の器械メーカーの方が1年に1回、2回来られました。平部「学童期における超音波踵骨骨量測定について―足底長と測定部位、測定値についての検討―」宮崎医学会誌 26:25~29, 2002という論文がありますが、他にに関する論文がないとのことでした。私は超音波で骨量を測定するとき、部位を変更し2か所測定すれば更に興味ある結果が出るのではないかと思います。次は転倒骨折を考慮しヒッププロテクターを製作しました。骨粗鬆症学会で数度発表しています。昨年の骨粗鬆症学会でも多機能短パン型ヒッププロテクターを発表しました。床ずれ予防も考慮し、考案した運動で、骨密度を上げたり、認知症予防などにならないかと思い製作しました。以前、枕も考案して実験しました。大まかな長方形の立体型（高さはほぼ肩幅を考慮しています）の形状ですが、中心部に頭部と頸部が入る、ややゆっくりしたスペースを設け、角度は平面のものと頸椎が10度前屈位になる2種類を作りました。その枕の写真を見られた先生から「人間工学的な枕ですね」と言われました。ぼつぼつですが、うれしく思うのは自分の考案した運動や物が患者さんに効果があったときです。かなり前に、国際学会で発表してみたいと思い、神戸で行われた、アジア義肢装具学会で発表しましたが、そのとき、カンボジア、フィリピン、香港の方と話して有意義でし

た。それ以後も実験を続け、血圧実験なども行い、その結果を昨年、骨粗鬆症学会で発表しました。約2か月間、オンデマンド配信され、びっくりしました。こんなことをしている私ですので、家族はじめいろいろな方に迷惑をかけ、ご助力をいただいています。感謝いたします。ぼつぼつやってますので、論文なども、多く見落としがあるのではないかと思います。私を含め高齢化社会、運動で自分の身体から産生されるもので、少しでも健康寿命が長ければよいのではと思っています。運動に関しては、1分間の運動によるずり応力で血管内皮細胞から内因性一酸化窒素とtPAを産生させ、そのいろいろな効果により健康寿命が長くなればと思っています。注意しなくてはいけない点もあるのではと思っています。骨粗鬆症学会では血圧実験（新型コロナウイルス感染者含む）を発表させていただきました。私の実験結果が少しでもお役に立ちますように。

コロナ禍で得た豊かな心・豊満な体

国富町 ^{やま}けいめい記念病院 ^だ山 ^{たく}田 ^や琢也

まずは5年ぶり3回目の本誌寄稿機会いただいたことに深謝。

さてコロナ禍で県境またぎも憚られ、旅や学会に出られなくても時勢に即応しようと切り替えた。新興感染症は勿論本意ではないし憂き目にも遭ったが、この微生物を憎んでも不平不満を言っても始まらないからだ。この3年半でHulu, U-NEXT, 後述のスポーツ関連配信、囲碁将棋プレミアムと有料配信サービスに加入した。まず造詣の深くなかった映画は、往年の「ウエストサイド物語」、90年代の「ジョーシヤンクの空に」、2000年代以降の「ハドソン川の奇跡」「最強のふたり」「Fukushima50」「君の隣をたべたい」など多くの人が知るヒ

ューマンやコメディから新旧洋邦ジャンル問わず数十本の作品を観た。ほとんど観ることがなかったアニメも「3月のライオン」は実写版にとどまらず観て、最近では「青のオーケストラ」にはまっている。またLiveも森山直太朗、緑黄色社会、YOASOBI、クラシック関連などオンライン視聴した。元来スポーツ観戦も好きなので、サッカー欧州選手権（1年延期されたユーロ2020）を観たくWOWOWに、野球のWBCのあと大谷やダルビッシュ、（非WBC組の）千賀ら日本人メジャーリーガーを観たくSPOTV NOWに加入した。未明や早朝にラ・リーガやヨーロッパチャンピオンズリーグ、MLBの試合を観て、二度寝を挟んで仕事に向かうことも多い。将棋の藤井六冠のタイトル戦対局も追いたい。Live観戦や生演奏が本当は一番いいのだろうが、それが不可能なときでも高揚・感動・興奮・歓喜を感じられる。

コロナ禍で増大した業務負担・ストレスの気分転換にしているつもりだが、不規則な生活は実は体によくないのかも。ジムは足が遠のき退会、朝歩くのもやめた。腹囲と体重は増加の一途で眼も弱った。コロナ禍の中で見つけ、少し広げられた趣向で心は豊かにできたと、たるんだ豊満な体も手にした。次は体についた贅肉を少しずつでも減らさねば。

マダニ異聞

宮崎市 中山医院 なか やま 中 山 けん 健

それは5月連休明け、8日のことでした。家のカミさんの訴えで、彼女の左下腿部皮膚に孤立性、小豆大の液中に黒い異物を浮かべる小水疱を発見。「虫刺されよ」と言いながら手元にあった酒精綿と注射針で処置したところ、液と共に異物も排出されました。これを綿の上でルーペを使い子細に見てみると、初め不動だっ

た4対の脚に動きがあり、形状からフタトゲチマダニの雌成虫が仮死状態から生還したものと判断しました。そこで「火アプリ」か「くし刺し」の刑に処しようと思い目線がわずかにずれたところで姿が忽然と消え、大慌てでガムテープなどを使い搜索しましたが徒労に終わりました。

そして。その翌日の夜、シャワーを使い拭き上げ中にふと右前腕部を見やるとあの（？）につくき奴がいるではありませんか。今度は慎重を期して裸のまま右手指で虫体を押さえつけカミさんにも手伝ってもらいまず虫よけスプレー（効能にマダニの記載はあったが忌避成分ディートやイカリジン含有の有無は不明）を噴霧し、奴が少し移動したので白いタオルの上に落とし再びスプレーを使用して動きを止め、ピンセットで掴みマッチ2本で完全焼灼しました。罹患場所について思い当たることとしては、5日に二人で小林方面へ出かけ夷守台にも立ち寄り草地の野の花を愛でたことぐらいです。

マダニは成虫の場合約7～14日間、口器（顎体部）を皮膚に刺入したまま吸血を続け飽血すると脱落するとされていますので発見できてまじくは一安堵でした。周知のごとくマダニ媒介性感染症にはブニヤウイルス（2018年の新規分類ではフェニウウイルス）によるSFTSやリケッチアによる日本紅斑熱、そして本邦では北海道のみでの報告ではありますがフラビウイルスによる脳炎などがあり、その後しばらくは我々を襲ったマダニがせめて同一体であったことを願いながら不安な日々を過ごしました。5月13日、19日の新聞報道によると本県内で飼い主も感染しうる猫のマダニ感染が相次いでおり18日は本年4、5例目のSFTS感染確認があったとのことです。ちなみに我々の皮疹は5月24日現在なお残存しております。

皆様、どうぞ今回のハプニングを他山の石とされてください。

おばけ退治はしてません！

えびの市 井尻眼科医院 ^い井 ^{じり}尻 ^{ゆう}裕 ^じ司

数年前の夏の日のこと、当時医学生（現在初期研修医）の長男が帰省時、暇をもてあまし2階自宅で携帯をいじっていたら、「よくあたる霊媒師の人がいると見たので明日行ってみる」と言い出した。当時何か悩みがあったらしく、いつも昼まで寝ている長男が珍しく早起きし、朝7時ごろには車でいそいそと出かけて行った。夜に長男に感想を聞いたが、本人的には内容が期待外れだったそうで、5千円残念だったねと笑い話となり、翌日には長男は帰って行った。

また静かな日常に戻ったはずだったが、今度は1階で診療中に、誰もいないはずの2階自宅から足音が頻繁に聞こえるようになった。いわゆるポルターガイスト現象である。私は以前にも同様の経験があり、そのうちおさまると思って様子を見ていたが、今回のおばけ？はすこぶる元気で、豪快に2階を駆け回るので、1階の診療所のスタッフも気味悪がりはじめ、さすがになんらかの対策を迫られることになった。

おばけのいたずらは更にエスカレートし、ある夜、深夜まで1階の診療所で仕事をして、そろそろ寝ようと医院と自宅をつなぐ内玄関を開けたら、わざわざおばけが立っていた。真っ白い大きなクリスマスツリーのような形体で足があるのか？瞬時には判別できなかったが、とにかく私も驚いて大声を出して飛び跳ねたら、おばけも一緒に飛び跳ねたのでちょっと笑ってしまった。とにかく今どうするか？考えるために、1度ドアを閉めて、もう1度開けるとおばけはもういなかった。このおばけはひょっとしたら長男が霊媒師の所から連れ帰ってきたかもしれないが、対策と言ってもすぐには思いつかず、とりあえず私が厄年なので神宮でお祓いを受けることになった。

受付で巫女さんから来宮の目的を聞かれ、とりあえず厄祓いと告げるついでに、駄目もと

で「あの～おばけ退治とか受け付けませんよね？」と聞いてみたが、若くてはつらつとした巫女さんはニッコリと笑って「おばけ退治はしてません！」と当然のごとく言われてしまった。「まあそうですね」と照れ笑いしながら手続きを済ませ、かたのごとくお祓いをしていただき、かたのごとくお守りと御札と御神酒の入った袋をいただいて帰宅したが、本当にありがたいことにその夜からポルターガイスト現象はぴったりと止まった。今までも厄祓いは何度も受けており、お守りと御札と御神酒のセットも何度もいただいたことはあったが、正直眼には見えないその効果を実感できるケースはなかったのが本当に驚いた。その後は現在に至るまでポルターガイスト現象は起こらず、大変感謝しております。

ATS2023米国胸部学会出席

日之影町 日之影町国民健康保険病院 ^{しげ}重 ^{なが}永 ^{てつ}哲 ^{ひろ}洋

ワシントンDC開催は前回6年前で今回が2回目、羽田から全日空で荷物は宮崎からスルーバゲッジで楽々、13時間で到着です。コロナ対策で何かと嚴重対応だった昨年とは一変、航空会社はワクチン接種証明なし陰性証明なし、機内CAはマスクなしの美しい笑顔の対応と、病院外の世界があまりにほば元の日常に戻って戸惑ってしまいました。国際会議場はマスク義務なく、参加者はほぼマスクなし、私は着用（写真撮影時のみ外しています）していました。日本人は昨年に比べて少し増えていましたがまだ少なめでした。相変わらず間質性肺炎は難治で人工呼吸器から離脱でき生存期間を延長できるほどの画期的な治療薬はまだなく、今後とも更なる研究と治験が必要と思われました。

会期中に今年も坂東政司教授（自治医大呼内）と空路球場へまいりました。活躍中の大谷翔平選手はますますの大人気で、大勢の日本語

が飛び交う応援席での観戦でした。ホームランも出て大盛り上がり（兜パフォーマンス）でいい日でした。

今回の参加に際し上田修三院長と猪須先生に大変お世話になりました。国際学会で日々激務の大学の若い先生方にお会いすると、町立病院から参加していることにびっくりされたりもします。研究会や日本内科学会はじめ各種学会ではオンライン参加含むハイブリッド出席が可能になったり、医学雑誌や海外ジャーナルのオンライン化がコロナ以降さらに進んだことで地方在住のデメリットが大きく軽減され「ネット次第でどこでも医師として最新の知識で働けること」が体现できています。「人生はただ一度きり、意外と長くないのでやりたいことを」との大学同級生のTEDx動画（池野文昭君）をとくに思い出し、地方在住し楽しく過ごしています。私の勤務する当院は宮崎市から1時間35分の県北山間部、現在医師募集中です。水と空気がおいしくとてもいいところおすすめです。



コロナ後の小旅行

川南町 国立病院機構宮崎病院 みや お ゆう じ 宮 尾 雄 治

新型コロナウイルスへの対応に追われたこの

3年間あまりの期間は、ほとんど旅行を楽しむことはなかった。イベントや人の移動も通常モード方向へと世間の雰囲気も醸成されたので、最近しばらくぶりに、近隣の県に家内と小旅行に行く機会があった。若いときの旅行は子どもたち中心で、行き先、ホテルの選定、現地での行動計画を割と綿密に計画していたし、自分の性格からもその計画しているときが楽しかった。現在ほぼ還暦の私と家内の旅行であれば、風光明媚な所で、温泉にでも入り、ゆっくりできればそれで満足な状況である。元々有明海に面した小さな町で生まれ育った私は、やはり海沿いの宿に郷愁を覚える。余談ではあるが、先日地元に戻り、90歳の母を連れて、亡き父と海遊びを楽しんだ場所を見晴らせる丘で花見をした。母も2か月程入院して退院後も間もない状況であったので、長居はしなかったが、懐かしい時間と旅行同様、心休まる時間を過ごすことができたのだが、母が小さくなったように思えたのが少し悲しかった。周りを海に囲まれた日本であるが、内海の有明海と今住んでいる宮崎県の面する太平洋は海の雰囲気がやはり違うし、山陰の日本海もまた違う感じがする。もちろん取れる魚種も違うが、旅行先で食する海鮮料理も地元ならではの物が出てくるとうれしい。幸いなことに私も家内も、特に食べれない食材はないので、新鮮な海の幸を旅行先ではいつも楽しみにしている。

今後の旅行計画を考えたとき、本当は海外にも行ってみたいが、日本にもまだ行ったことのない、自然豊かな観光地がたくさんあるし、さて今からの人生で何か所行けるのだろうか。コロナで行けなかった分、ややリベンジの意味も込めてここ数年は前のめり気味で行ってみたいと思う。還暦を迎えた今年、観光地を見て回れるぐらいの体力がちゃんとあるうちに、そして美味しい物を、美味しくしっかり食べれるうちに旅行を楽しみたいと最近思うようになっていく。

短歌

お題「ゆらゆら」

宮崎市 市来内科・外科医院 市来能成

朝一番 午後休診の 指示を出し 心ゆらゆら 診療する

ゆらゆらと 揺れる網膜 赤と青 検査を受けて 患者になる

ゆらゆらと 揺れる視野に 光見ゆ 元の世界に 近づいていく

病室に 孫から届く メッセージ 元氣をもらい 気持ちゆらゆら

ゆらゆらと ガスがゆらめき ぼんやりと 愛しい妻の 笑顔が見える

左眼の 内なる水面 ゆらゆらと 我の左手 かざしてみる

眼の中に 隠れた気泡 ゆらゆらと 小さくなって 消えた宝石

令和5年5月中旬左眼の網膜剥離で初めての入院・手術を経験した。術後3日目の朝、テレビ短歌でお題「ゆらゆら」とあったので、記録を兼ねて詠んでみることにした。診療所を休診にすると患者さんに迷惑がかかるため、90歳になる父が頑張って診療を継続した。見かねた長男が大学病院から休みをもらい、4日ほど手伝いに来てくれた。また、孫たちを撮った動画を長男の嫁が送ってくれ、とても癒された。

知人の医師や看護師からたくさんの声をかけていただき、とてもありがたかった。剥がれた網膜を元に戻すため、眼球内にガスが注入され、一時的に不自由な身になったが、視力が回復するにつれ、手遅れにならずに済んで本当によかったと思った。左利きで利き目も左なので、感無量であった。

今回、突然の入院で多くの方々にご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びしたい。また、日常診療や幼稚園、小学校の検診などで忙しい妻に入退院手続きや洗濯物の世話をしてもらい、とても感謝している。

お知らせ

第24回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展が8月9日(水)より5日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は86点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月9日(水)～13日(日) 10時～18時(13日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：写真，書道，絵画，その他作品

出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族（高校生以上）

問合せ先：宮崎県医師会 医家芸術展事務局

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

写真部門

木佐貫 冬星（日南市）	酒井 桂子（都城市）	佐々木 究（宮崎市）
末岡 常昌（延岡市）	田中 宏幸（宮崎市）	谷口 二郎（宮崎市）
玉置 昇（綾 町）	長沼 弘三郎（延岡市）	原 政樹（国富町）
山路 健（都城市）		

書道部門

大迫 文子（宮崎市）	岡村 公子（延岡市）	山内 励（宮崎市）
弓削 和子（宮崎市）	弓削 三重子（宮崎市）	

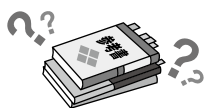
絵画部門

浅見 鳴子（宮崎市）	安藤 宣（西都市）	石川 万佐子（宮崎市）
内田 攻（宮崎市）	大塚 早智（宮崎市）	大西 敦子（宮崎市）
酒井 和彦（都城市）	酒井 美絵子（都城市）	竹村 龍之助（宮崎市）
谷口 二郎（宮崎市）	田原 莉央（西都市）	長沼 弘三郎（延岡市）
野崎 藤子（宮崎市）	松本 健吾（宮崎市）	

その他作品

大迫 文子（宮崎市）

（敬称略・各部門50音順・令和5年6月30日現在）



あなたできますか？

—令和4年度 医師国家試験問題より—

(解答は47ページ)

1. 母体背景と胎児疾患の組合せで正しいのはどれか。3つ選べ。
 - a 高齢妊娠 ————— 13trisomy
 - b 風疹感染 ————— 先天性心疾患
 - c 妊娠高血圧症候群 ————— 不整脈
 - d 全身性エリテマトーデス — 頭蓋内出血
 - e パルボウイルスB19感染 — 貧血
2. 胃全摘術後にみられる可能性があるのはどれか。3つ選べ。
 - a 胆石
 - b 肥満
 - c 貧血
 - d 耐糖能異常
 - e 門脈圧亢進
3. 女性に多いのはどれか。
 - a 双極Ⅰ型障害
 - b アルコール依存症
 - c 自閉スペクトラム症
 - d 神経性食思〈欲〉不振症
 - e 反社会性パーソナリティ障害
4. デルマドロームでないのはどれか。
 - a Sweet病
 - b 皮膚筋炎
 - c 黒色表皮腫
 - d 日光角化症
 - e 壊疽性膿皮症
5. 介護保険の強制加入の開始年齢はどれか。
 - a 20歳
 - b 40歳
 - c 60歳
 - d 65歳
 - e 75歳
6. 災害医療について正しいのはどれか。
 - a 災害拠点病院は市区町村が指定する。
 - b 災害現場では医師は救急救命士の指揮下に入る。
 - c 防災体制を整備する地域的単位を二次医療圏と呼ぶ。
 - d トリアージは医師以外の医療職も行うことができる。
 - e 災害医療とは災害時健康危機管理支援チーム〈DHEAT〉の医療活動のことである。
7. 肘内障でみられるのはどれか。2つ選べ。
 - a 上肢下垂位
 - b 前腕回内位
 - c 肘関節腫脹
 - d 肘関節発赤
 - e 肘関節伸展位
8. 待期的に行う全身麻酔下の手術で、術前に確保すべき清澄水の絶飲時間はどれか。
 - a 15分
 - b 2時間
 - c 6時間
 - d 12時間
 - e 24時間
9. 7歳の女兒。就学してから2か月間、教師や児童と会話をしないことを指摘され、心配した両親に連れられて来院した。幼稚園でもほとんど発語はなかったが、身振りでコミュニケーションはとれていた。幼少時から現在まで、家族とは普通に会話しており、知的な遅れは目立たない。神経診察を含む身体診察に異常を認めない。考えられるのはどれか。
 - a 吃音症〈小児期発症流暢症〉
 - b Tourette症候群
 - c 学習障害
 - d 選択緘黙
 - e 素行症
10. 29歳の女性（0妊0産）。腹部膨満感を主訴に来院した。半年前から体外受精—胚移植の不妊治療を受けており、4日前に14個採卵した。受精卵はすべて凍結保存されている。意識は清明。身長154cm、体重52kg（2日で2kg増量）。体温36.8℃。脈拍80/分、整。血圧104/56mmHg。呼吸数28/分。SpO₂96%（room air）。腹部は軟で、膨隆し波動を認める。内診で子宮は正常大、可動性は良好である。腹部超音波検査で、径10cmの両側卵巣腫大と多量の腹水貯留とを認める。心エコー検査で異常を認めない。血液所見：赤血球565万、Hb16.8g/dL、Ht51%、白血球11,800、血小板37万、PT-INR1.0（基準0.9～1.1）、血漿フィブリノゲン580mg/dL（基準186～355）、Dダイマー2.9μg/mL（基準1.0以下）。血液生化学所見：総蛋白5.6g/dL、アルブミン3.0g/dL、尿素窒素26mg/dL、クレアチニン0.81mg/dL、Na134 mEq/L、K5.1mEq/L、Cl96mEq/L。腹水貯留の原因となるのはどれか。
 - a 腹膜炎
 - b 右心不全
 - c 腎機能障害
 - d 門脈圧亢進
 - e 血管透過性亢進



あなたできますか？（番外編）

－令和4年度 獣医師国家試験より－

（解答は47ページ）

先月号に引き続き「あなたできますか？」の番外編として獣医師国家試験の問題を掲載します。ぜひ挑戦してみてください。

1. 獣医師の職業倫理に反するのはどれか。
 - a 離島なのでオンライン診療で対応した。
 - b 緊急時に診療せずに薬を処方した。
 - c 診療代金が高額なので分割で支払いたいとの依頼に応じた。
 - d 珍しい症例について飼い主の同意を得てSNSに掲載した。
 - e 他の獣医師の不適切な診療行為について本人に忠告した。
2. 「獣医師法」に関する内容として正しいのはどれか。
 - a 国家試験に合格したら獣医師免許が与えられる。
 - b 刑事罰（酒気帯び運転等の罰金以上の刑）を受けた場合、獣医師免許を停止または獣医師免許を取り消されることがある。
 - c 犬の診療簿は1年間保存しなければならない。
 - d 動物取扱業者から電話で子猫が生まれたとの連絡があり、出生証明書を発行した。
 - e 獣医療を日常的に行わない場合、2年ごとの都道府県への届出は必要ない。
3. しつけ教室を開催するにあたり、社会化期の子犬を対象とすることが重要である。犬の発達ステージの中で社会化期として最も適切なのはどれか。
 - a 0～3週齢
 - b 3～12週齢
 - c 3～6か月齢
 - d 6～12か月齢
 - e 12～24か月齢
4. ガウン装着後の術者が手の無菌状態を維持するための姿勢として正しいのはどれか。
 - a 腕を組んで脇と腕の間に挟む。
 - b 胸の前で両手を組む。
 - c ドレーピングした手術台に手を置く。
 - d 手を腰にあてがう。
 - e 頭より上に手を保持する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c
4. c, d 5. d, e
5. 季節繁殖動物はどれか。
 - a 馬
 - b 羊
 - c 牛
 - d 豚
 - e 犬

1. a, b 2. a, e 3. b, c
4. c, d 5. d, e
6. 豚で欠乏すると皮膚に錯角化症（不全角化症）を起こす物質はどれか。
 - a 鉄
 - b 銅
 - c 亜鉛
 - d ビタミンB₁
 - e ビタミンE
7. 生食用食肉の成分規格項目はどれか。
 - a 一般細菌数
 - b 腸内細菌科菌群
 - c 大腸菌群
 - d E. coli
 - e サルモネラ属菌
8. 主にシラミによって媒介される感染症はどれか。
 - a 発疹チフス
 - b 日本紅斑熱
 - c 野兔病
 - d 発疹熱
 - e 黄熱
9. 牛の子宮脱の治療に関する記述として正しいのはどれか。
 - a 怒責が強い場合は全身麻酔を施す。
 - b 脱出子宮の表面は十分に洗浄してから整復する。
 - c 治療の際には牛を前低後高にする。
 - d 治療前にオキシトシンを投与して子宮の収縮を促す。
 - e 整復後の再発予防にマグネシウムの投与が有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c
4. c, d 5. d, e

エコー・リレー

(575回)

(南から北へ北から南へ)

便利が不便…そして

宮崎市 横田内科 横田直人



研修医のころ、ポケベルで呼び出されるとビックとしたものだった。でも、電話機能はないし位置機能もなくこちらの都合で返事ができた。今は便利な携帯電話のおかげで即座に会話ができる。Face timeをonにす

れば、表情も背景もすべてreal timeに伝わる。だが、onにしなければ怪しまれることにもなる。物を買うのも携帯電話でcashless決済が可能。お陰で手持ちがないからと断ることができない。飛行機に乗るにも携帯電話上のアプリからのチケット購入が必須。携帯電話そのものがチケットだから、旅先では充電が切れないかいつも不安になる。そして、病院受付もマイナンバーカードで医療保険情報を即座に正確に読み取れるようになった。マイナンバーカードは元々、個人の預金を国が把握するために導入された。新規の銀行口座開設には必須であり、納税漏れを防ぐのが目的と思われる。近い将来、運転免許証を兼ねる予定で国は利便性に幅を持たせて普及に躍起である。だがその分、粉失したら即座に病院にもかかれないうし、運転もできなくなる。病院のカードリーダーは半ば強制的に導入が義務化された。このカードリーダーにはなぜか顔認証機能もついている。この事実を大半の患者さんは知らされていない。もし、サーバーがハッカーの侵入を受ければ、個人の顔、健康状態、預金、運転免許情報などが即座に盗まれることにならないだろうか？ 実際、共産圏の国家においては、大衆の中にいても一瞬で個人が特定され、反体制主義者は行動を監視され自由を奪われる事態も起きている。顔写真を入れ替えれば個人が他人にすり替わり瞬時にその人の人生を奪うことも可能になる。考えると恐ろしくなる。便利は怖いと思うこのごろです。

[次回は、国富町の岩城 彰先生をお願いします]

ソフトテニスと私

延岡市 延岡共立病院 和氣 聡



私は中学と大学の9年間、ソフトテニスにどっぷりはまってしまった。ソフトテニスとは日本発祥の主として東アジアを中心としたアジア圏でプレーされている、中空の柔らかいゴム製のボールを用いたテニスである。

2対2で対戦することが多く、相手の打ったボールを次はどう展開するか、攻めのボールを打つのか、守りのボールを打つのか、お互いに駆け引きし、ポイントを獲得するのが醍醐味である。相手の気持ちや動きを読み取り自分の思いどおりのプレーができると本当に気持ちがよいものである。学生時代は試合で結果を残すことを目標に日々テニスをしており、それが心地よかったし楽しかったものである。

大学を卒業し仕事も忙しく家庭を持ったことで、しばらくソフトテニスから離れていたが、宮崎に戻ってきたことを契機に、自分の時間を持てるようになったため15年ぶりにテニスを再開してみた。案の定、体力は衰え、動体視力、ボールに対する反応も悪く思いどおりのプレーは到底できなかった。しかし現在はアラフィフの減退する体力維持や健康増進、何より共通の趣味であるソフトテニスを心から楽しめる仲間たちとプレーすることを楽しみに活動している。また何より、日々の診療で溜まった疲れやストレスをテニスでリフレッシュし、日々の診療への活力となっていることが一番の効果ではないかと思う。これからもケガのないよう、生涯スポーツとして続けていきたい。

[次回は、宮崎市の藤木 啓先生をお願いします]

メディアの目



救急車の逼迫に思うこと

共同通信社 宮崎支局長

あ そ よし ひろ
阿 曾 吉 宏

56年余の人生で、2度ほど救急車のお世話になったことがある。最初は高校2年生か3年生だったかの夏、ミニバイクで幹線道路の左端を走行中に左折車に巻き込まれたときで、あごひもを締めていなかったヘルメットが外れて車の下に潜り込んでいたが、幸いにもあちこちの擦り傷程度。次は前傾姿勢で乗るスポーツ自転車で突然右折してきた車を避けようと急ブレーキをかけたら、1回転して吹っ飛び、ヘルメットをかぶった頭から地面にたたきつけられたものだが、これも背中中の打撲と擦り傷のみ。そこそこピンピンしながら搬送される間、かなり居心地が悪く、救急隊員に恐縮するばかりだった。

そんな体験から、3度目をためらったことがある。元号が令和に切り替わる前後の10連休の初日、寝れば治ると軽んじた前夜からの腹痛が悪化の一途をたどり、立つことも容易ならざる状態に陥った。それでも119番を頼ってなるものかと、妻の介助を得て150m先の診療所までよちよち歩きでたどり着いてみせた。

とはいえ診療所では対処できず、紹介された最寄りの総合病院までタクシーで移動。診断は盲腸の破裂による腹膜炎の併発で3時間に及ぶ緊急手術のうえ、2週間の入院に至った。さすがに救急車をお願いすべきだったかと思ったが、代わりに家から徒歩15分の病院に入れて世話役の妻が楽になり、やせ我慢は報われた。

なぜこんな話を持ち出したかという、救急出動の増加が昨今、問題化していると側聞したためだ。つい先日も消防職員の自主組織「全国消防職員協議会」の調査で、通常運用の救急車すべてが出払う事態が昨年中に加盟団体の80%で発生したと判明。隊員の負担は重く、連続勤務での居眠りによる交通事故も報じられた。増加の背景には高齢化に加えてコロナ禍もあるようだが「無料だから」「病院が分からない」といった理由の不急な要請も一因らしい。救命の最前線を担う彼らの逼迫は他人事では済まされない。

ただ、いざとなると判断はやはり難しいものだ。実は春先、東京で独居している高齢の母が腰の激痛に襲われた。見舞った妻から、本人は「寝ていれば治る」と言うがどうしたものかとの相談。病院に連れて行ってもらおうと考えたが、タクシーにどうにか乗せられたとしても、ネット検索で見つけた近場はどこも対応困難との返答で、行き詰まってしまった。

結論としては、救急隊を呼んで病院を探してもらい、腰椎の剝離骨折で1週間の入院、安静となった。119番に先立って妻に電話させてみた救急相談窓口「#7119」が「呼びたいのであれば、お好きに」といった風で、むしろ背中を押された形だったのだが、この窓口機能をもっとうまく充実、発展させられれば隊員の負担軽減につながるような気もした。

身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

第22回 退院を拒否する入院患者の対応について



Q.

当院では入院患者の受け入れを行っているところ、すでに退院できる状態になっていながら、素直に退院してくれない患者がいます。中には、患者に退院されては困るという理由で、退院をさせないようにする患者の家族も散見されます。これまでは、患者やその親族との話し合いでなんとか退院してもらっていましたが、退院を不当に拒絶する患者が出現した場合、医療機関はどのように対応すべきでしょうか。

患者本人の希望やその親族の事情などにより、退院できる身体的状態でありながら、退院を拒絶する患者の事例が散見されます。そのため、有床の医療機関では退院を拒絶する患者の対応方法を確認しておくことは重要です。

この点、病院からの退院および退去要求に対して、患者が病院の医療過誤を主張して争った事案に関して、裁判所は、「①医師が、患者の病状が、通院可能な程度にまで治癒したと診断した場合に、②同診断に基づき病院から患者に対し退院すべき旨の意思表示があったときは、③医師の上記診断が医療的裁量を逸脱した不合理なものであるなどの特段の事由が認められない限り、入院をともなう診療契約は終了し、患者は速やかに入院患者用施設である病室から退去する義務を負う」という判断を示しています。

そのため、医療機関が退院可能と判断した場合、その理由を患者本人に十分説明のうえ、合理的な期間内での退院を求めた段階で、患者は入院する根拠を失います。当該期間経過後は患者による不当占拠として毅然と対応していくことが重要です。なお、病院に居座る理由として医療過誤を主張してくるケースもありますが（前述の裁判例はまさにその事案です。）、「医療過誤の有無」と「退院の可否」は別の議論ですので、怯むことなく退院を強く求めましょう。また、可能であれば入院を受け入れる際に記入してもらった連帯保証人や身元引受人である親族にも協力を得たうえで、説得を行いましょう。

もっとも、それでも患者が病室に居座る場合や認知症など患者の意思能力に問題がある場合に、医療機関が実力行使で退院させることは法律上問題があるため、行うべきではありません。この場合には、速やかに病室の明渡しを求める訴訟手続を経たうえで強制執行を行うことがよいでしょう。

（回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂）

A.



<医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

表彰・祝賀

医療功労により県知事表彰

はら	だ	ゆう	いち	
原	田	雄	一	先生（宮 崎）
おお	はし		つよし	
大	橋		剛	先生（都 城）
たか	お	ゆう	へい	
高	尾	雄	平	先生（延 岡）
きた	むら		ひろし	
北	村		洋	先生（児 湯）
さ	とう	げんじ	ろう	
佐	藤	元二	郎	先生（西白杵）

令和5年6月17日、医療功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



原田 先生



大橋 先生



高尾 先生



北村 先生



佐藤 先生



宮崎県感染症発生動向 ～5月～

令和5年5月1日～令和5年5月28日（第18週～第21週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核8例（男性5例・女性3例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

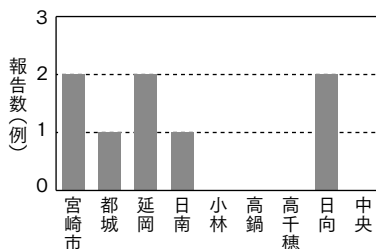


図1 結核 保健所別報告数(例)

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は10歳代で，主な症状として腹痛，水様性下痢がみられた。原因菌はO血清群不明（VT1）であった。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例：高鍋，日向保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で，いずれもダニの刺し口があった。主な症状として発熱，頭痛，下痢，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少等がみられた。

○日本紅斑熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，ダニの刺し口があった。主な症状として発熱，頭痛，発疹，肝機能異常，食欲不振，倦怠感がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎2例：宮崎市，延岡保健所管内から報告があった。年齢及び性別は10歳代と20歳代の男女で，病型はB型とサイトメガロウイルスであった。主な症状として全身倦怠感，発熱，肝機能異常，両側扁桃腫大（白苔を伴う）がみられた。

○急性脳炎2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳と10歳代で，病原体は1例が不明，もう1例はパラインフルエンザウイルスであった。主な症状として発熱，痙攣，意識障害，髄液細胞数の増加，異常行動，言語障害がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状としてショック，DIC，軟部組織炎がみられた。

○後天性免疫不全症候群3例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代が2例と50歳代が1例で，病型はAIDSが2例，無症候性キャリアが1例であった。AIDSの指標疾患は1例がカンジダ症，ニューモシスティス肺炎，サイトメガロウイルス感染症で，もう1例が非ホジキンリンパ腫であった。主な症状として発熱，息苦しさ，後腹膜悪性腫瘍等がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症3例：高鍋（2例），都城（1例）保健所管内から報告があった。年齢は50歳代，80歳代及び90歳代で，主な症状として頭痛，発熱，全身倦怠感，嘔吐，項部硬直，髄膜炎，肺炎，菌血症がみられた。ワクチン接種歴は無しが2例，不明が1例であった。

○梅毒18例（男性14例・女性4例）：宮崎市（9例），都城（7例），延岡，小林（各1例）保健所管内から報告があった。年齢別報告数は【表3】，病型別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，神経症状がみられた。

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	3
その他の結核（結核性胸膜炎，結核性腹膜炎，結核性リンパ節炎）	3
無症状病原体保有者	1
疑似症患者	1

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
60歳代	3
70歳代	2
80歳代	3

表3 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
10歳代	1
20歳代	6
30歳代	6
40歳代	4
50歳代	1

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	8
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
晩期顕症梅毒	1
無症状病原体保有者	5

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,897人（定点あたり95.0）で，前月の130%，例年（新型コロナウイルス感染症は除く）の262%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病，ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎で，減少した主な疾患は咽頭結膜熱，感染性胃腸炎及び水痘であった。また，例年同時期と比べて

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
細菌	EPEC (O103:HNM)	2
	EPEC (OUT:H28)	1
ウイルス	Parainfluenza virus 3	1
	Influenza virus AH3	4

報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ及び流行性耳下腺炎であった。

インフルエンザの報告数は925人（15.9）で前月の約28.5倍であった（例年同時期の報告なし）。小林（38.0）、都城（30.5）、中央（19.0）保健所からの報告が多く、15歳未満が全体の約8割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は657人（18.3）で前月の約30.6倍、例年の約56.4倍であった。宮崎市（32.7）、延岡（22.0）、中央（21.0）保健所からの報告が多く、1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

※新型コロナウイルス感染症の4月及び5月第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

■月報告対象疾患の発生動向〈2023年5月〉

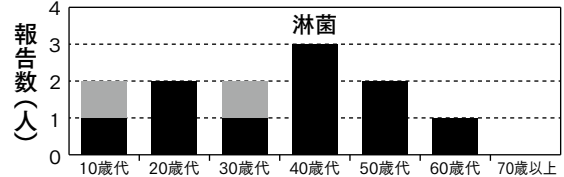
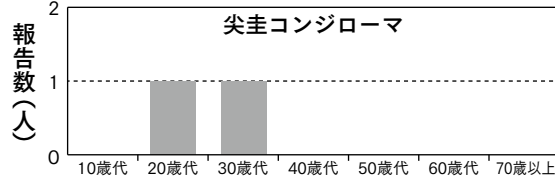
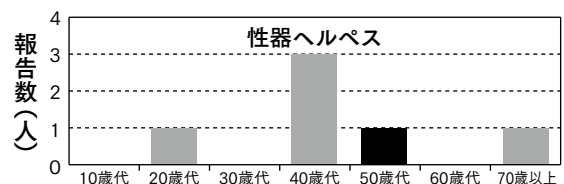
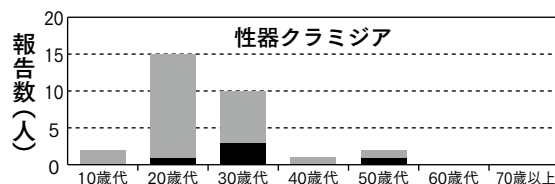
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は50人（3.9）で、前月比122%と増加した。また、昨年5月（3.1）の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 報告数30人（2.3）で、前月の約1.4倍、昨年5月の約1.8倍であった。20歳代が全体の半数を占めた。（男性5人・女性25人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約0.5倍、昨年5月の約0.9倍であった。（男性1人・女性5人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月及び昨年5月と同率であった。（女性2人）
- 淋菌感染症：報告数12人（0.92）で、前月の約1.7倍、昨年5月の約0.9倍であった。（男性10人・女性2人）



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人（2.9）で、前月比125%と増加した。また、昨年5月（2.0）の約1.4倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人（2.9）で、前月の約1.3倍、昨年5月の約1.4倍であった。70歳以上が全体の8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

前月との比較

	2023年5月		2023年4月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	925	15.9	325	5.6	★
新型コロナウイルス※1	495	8.5	191	3.3	★
RSウイルス感染症	330	9.2	257	7.1	★
咽頭結膜熱	52	1.4	72	2.0	
溶レン菌咽頭炎※2	136	3.8	140	3.9	★
感染性胃腸炎	1,054	29.3	1,383	38.4	★
水痘	10	0.3	21	0.6	
手足口病	134	3.7	41	1.1	★
伝染性紅斑	1	0.0	3	0.1	
突発性発しん	77	2.1	72	2.0	
ヘルパンギーナ	657	18.3	215	6.0	★
流行性耳下腺炎	14	0.4	4	0.1	★
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	12	2.0	18	3.0	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去3年の平均）より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

各郡市医師会だより

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月初旬に、中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてから、わずか数か月ほどの間にパンデミックと言われる世界的な流行となりました。日本においては、2020年1月15日に最初の感染者が確認されて以降、現在まで人々の生活は一変し“日常”が“非日常”となり、当初は連日ニュースで未知のウイルスに対する情報が流れ、不安に駆り立てられるのと同時に、病院としての対応の表明や対策に追われる日々でした。

気がつけば約三年半が経ち2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症は5類感染症へと位置付けられ、“コロナ”“感染対策”が合言葉のように使われていたのが嘘のように、Yahooニュースからもコロナの文字が消えました。街を歩けばとりわけ若者の顔からはマスクも消え、空港はリベンジ消費とも思われる旅行者でごった返し、店の入口に置いてある消毒液もほとんどの人がスルーして入店していきます。

しかし世の中が5類という位置付けに変わり、生活が以前のように日常化しても私たちの周りからコロナが消えたわけではありません。定点把握ではいまだに感染者数は増加の一途を辿っているのが現状で、ということは我々医療従事者はコロナの動向には変わらず目を向けておかなければなりません。アフターコロナと言われている今も常に最新の情報を把握して患者さんへ発信していく役割を担っていることを忘れてはならないと思います。

（横山 剛）

宮 崎 市 郡 医 師 会

夜間急病センターは、以前はA会員だけが当直可能でしたが、現在は係る医療機関のA会員に限りません。新病院に移ってからフリーランスあるいは大学病院の医師の当直枠が増え、医師会病院勤務医がバックアップを担うこともあり、会員の負担は随分と減っています。

しかし医師会会員の協力なしには運営は不可能であることに変わりなく、全医療機関が3科いずれかの当直の義務を負うことは定款別規程「夜間急病センター規則」で定めるとおりです。会員間で不公平・不平等感をなくせるよう医師会は今後も働きかけていきます。

（田中 宏幸）

延 岡 市 医 師 会

介護保険介護福祉・在宅医療担当理事を仰せつかっています。3月に地域医療ネットワーク連絡協議会と在宅医療施設と救急医療機関との連絡協議会を合同開催いたしました。ハイブリッド開催でしたが、多くの医療関係者に来場いただきました。やはり、対面での会議はとても大事であるとあらためて感じました。今後、夏・冬には新型コロナ感染拡大が懸念されますが、この平時に各医療機関・介護施設などが協力し、スムーズに連携できる体制を構築できればと思います。

（池田 典文）

日向市東臼杵郡医師会

爽やかな風が吹く季節になりました。新型コロナウイルス感染症は5類感染症となり、これまでの日常を取り戻しつつある現在、今年の夏はレジャーやイベントなどを楽しむ方がより一層増えるのではないのでしょうか。日本気象協会によると、今年の夏も早い時期から厳しい暑さが予想されるようです。本格的な夏を迎える前の熱中症対策として、軽い運動や湯船につかる入浴で汗をかくことなどで体を暑さに慣れさせる暑熱順化が呼び掛けられています。私自身も倒れないように気をつけたいと思います。

(伊藤 康司)

児 湯 医 師 会

日頃高齢者の骨粗鬆症に対して骨密度検査(DEXA)をしておりますが、ここ半年ぐらい前から骨密度が下がっている患者さんが増えてきている気がします。話を聞くと、“コロナ前はウォーキングなど毎日していたけど、コロナ禍で外出する機会が減って運動しなくなった”と言われることが結構あります。運動量が減ると骨密度が低下するのと下肢筋力も低下するので、転倒によって骨折の危険性が高くなってしまいます。高齢者の運動をもっと指導していかないといけないと思いました。

(谷畠 満)

西都市西児湯医師会

西都児湯医療センターは4月から内科常勤医不在となったうえ大学からの外来診療医や当直医派遣も減らされています。西都市唯一のコロナ受入重点医療機関として6病床を備えていますが、第9波が危ぶまれる中その存続も心配です。

医師派遣側からの忠告や裁判判決をも無視しこの事態を招いた市長と濱砂前理事長退任後も医療センターの運営に支障はきたさないという常識外れの判断のもと、市長に追従してきた市会議員の方々は今後の医療センターをどう導くのか説明が欲しいものです。

(杉尾 克徳)

南 那 珂 医 師 会

今年3月25日に東九州高速道路 宮崎⇄日南間が全線開通いたしました。しかも南清武⇄日南間は無料です。宮崎市内まで30分です。大変便利になりました。しかし、その反面、ある薬卸問屋が日南支店を廃止し、宮崎支店と統合するとの通知がありました。最近、南那珂では婦人科、皮膚科、耳鼻科の開業医院が各1件となりました。開通の便利さを活かし、通勤勤務医や通勤開業医院なども視野に入れてもらい、この地域医療を支えていただくことを切望しています。

(河野 清秀)

西 諸 医 師 会

新型コロナが5類感染症となり、行事は以前の賑わいを取り戻し、屋外や屋内でマスクを外している方も多くなってきました。しかしながら5月の段階でインフルエンザの患者さんがぼつぼつ出て、学級閉鎖などもあるようです。インフルエンザはコロナが流行してからは少なくなっていたことを考えると、三密の対策は一定の効果があったと考えますが、あのころのようには戻りたくないですし、戻る必要もないと思います。医師会としても、感染症と共存できるような体制を考えていきたいと思っています。

(楠元 規生)

国公立病院だより

県立延岡病院



てら お きみなり
寺尾 公成 院長

当院院長の寺尾でございます。平成から令和に切り替わるタイミングで院長職を拝命し、5年目を迎えることになりました。令和2年度から4年度の丸3年間は、ほぼほぼコロナ禍の生活にどっ

ぷりと浸かって、その舵取りに追われる日々を過ごしたのが実感でした。

当院は、昭和24年12月に2診療科（内科、外科）・病床数42床として開院し、以降、宮崎県北地区（延岡・西臼杵地区、日向・東臼杵地区）の中核病院として地域に根差した医療を展開してまいりました。現在、23診療科・医療法許可病床数410床（厚生局届出病床数388床）を有し、全診療科に及ぶ救急医療をはじめとして、悪性腫瘍に対する集学的医療、さまざまな合併症を有する高齢者医療、ハイリスク小児・周産期医療など、高度医療を必要とする方々に、二次、三次医療の提供をおこなっています。また、内科や外科といった各診療科の医療提供に加え、複数の診療科が共同でおこなう「救命救急センター、心臓脳血管センター、集中治療センター、周産期センター、消化器センター、呼吸器センター」といったセンター構想のもとで、医療を展開する形態も当院の特徴です。決して多いとはいえない医療資源を有効に利活用して、医療を実践していく仕組みになっています。

私が当院に赴任した平成元年以降の約35年の間に、ハード面で3つの大きなエピソードがありました。1つ目は、平成10年9月の「本館」

グランドオープン、2つ目は、平成25年4月の屋上ヘリポートを併設した「救命救急センター」開設、そして3つ目が、私の院長就任と同時期である平成31年（令和元年）4月に「心臓脳血管センター」が竣工したことであります。

1つ目の「本館」に関しては、すでにオープン後25年が経過して建物自体の老朽化に加え、必要とされる医療界の進歩も相俟って、本年2月に、リハビリテーションセンターを1階から7階へ新規移設しました。南には愛宕山、北には城山と今山大師像といった延岡を代表する光景を一望できる造りとなっています。急性期医療から回復期医療へ移行する役割を担う部署として、うってつけのシチュエーションではないかと自負しているところであります。また、悪性腫瘍医療の主戦場の一翼を担う外来化学療法室を20床と倍増して、旧リハビリテーションセンターの跡地に移転新設し、本年夏にはその竣工が待たれるところです。2つ目の「救命救急センター」に関しては、令和3年4月に始動した宮崎県初の救急車型ドクターカーが3年目を迎え、宮崎県北の地を縦横無尽に駆け巡って、救命医療の最前線を担っています。県内一円を飛び回っている医療用ヘリコプター（ドクターヘリ、防災ヘリ）とあわせて、攻めの救急医療体制が一層強固なものとなり、いわゆる地域に根差した病院前救急医療が惜しみなく実践されています。また、2年後の大阪万博で導入が予定されている空飛ぶクルマが当院に飛来してくる日もそう遠くはないのかもしれません。3つ目の「心臓脳血管センター」に関しては、まずは平成31年（令和元年）4月に、本館から移設した1室目の心臓カテーテル室で診療がスタートし、半年後の10月に2室目が稼働開始となって、2室同時対応が可能となり、スムーズな循環器診療が運営できるようになりました。そして、本年秋には3室目のハイブリッド手術室がいよいよ完成し、心筋梗塞に加え脳卒中、動脈

瘤ならびに外傷など一刻を争う血管疾患の診療が飛躍的に進歩していくものと期待されます。

院長就任時に、掲げたソフト面の命題は、「①医療連携、②医療人確保、③医師の働き方改革」の3つであります。紙面の都合で詳細は割愛しますが、院内外の多くの仲間のおかげ（まさしく医療連携！）で、牛歩の如くではありますが、チョットずつ現実味を帯びてきていることを感じる今日この頃です。

当院の南方には、天照大神の孫にあたるニニギノ尊（天孫降臨の君）が、コノハナサクヤ姫と初めてデートをしたと言い伝えられている愛宕山が凜として鎮座しています。愛宕山の頂上には、ご両名が向き合ったモニュメントの像があり、恋人達の憩いの場として名を馳せています。ニニギノ尊とコノハナサクヤ姫のご両名はその後ご成婚されて、海幸彦&山幸彦の誕生を迎えることになります。そして山幸彦の孫が日本国初代天皇として名高い神武天皇であることは周知の事実であろうかと思えます。神武天皇は日本初とされる海軍を引き連れて、日向市美々津町から、日向灘の一ツ礁（ひとつばえ）と七ツ礁（ななつばえ）の間を通して海路東へ

と進み、現在の近畿地方一円で大和の国「日本国」を建国したと伝承されています。現在の天皇陛下は神武天皇から数えて第126代の天皇になります。この神話伝説から、延岡・日向・高千穂を中心とする宮崎県北の地は、「出会いと旅立ちの聖地」と称されています。これを医療の世界にたとえるならば、医学生・研修医といった医師のみならずこれから医療を学ばんとする多くの職種の若人にとって、当院を医療のスタートの場とすることは、今後の医療人としての人生において必ずや大きな矜持になることでしょう。延岡で医療と出会い、学び、遊び、そして日本へ世界へ飛翔していく。そんな出会いと旅立ちの場を提供できる医療施設となるべく、当院が今後ますます発展していくことを願って止みません。

最後に、私がモットーに掲げている医療論を肝に銘じつつ、泰然自若とした構えでさまざまな問題に対処していきたいと思っています。

「医療とは、理路整然とした科学と、心溢れる情熱の融合である」



ドクターカーとともに



病院全景

宮崎大学医学部だより

発達泌尿生殖医学講座 ー泌尿器科学分野ー



か も と と し ゆ き
賀本 敏行 教授

平素より宮崎大学医学部泌尿器科教室にご理解・ご高配をいただき、また多大なるお力添えを賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。

平成21年5月から3代目泌尿器科教授として賀本が着任し、15年目を迎えました。

今年は3名の新入局員を迎え、現在教授1名、准教授2名、病院准教授2名、助教7名、医員・研修医3名、大学院生5名の計20名が診療、手術、教育、研究、学会発表を精力的に行っています。宮崎市内の関連病院では症例の集約化を行い、さまざまな泌尿器科疾患への専門性を高めております。野崎東病院における尿路結石や前立腺肥大症のレーザー手術、潤和会記念病院における尿失禁や骨盤臓器脱などの女性泌尿器疾患の手術など、各病院が特色を出した医療を掲げ、患者さんへの高度な医療の提供を目指しています。宮崎市外の各関連病院では、それぞれの地域に根ざした診療を展開しています。

大学病院では近年、最先端の手術支援ロボット「da Vinci Xi surgical system」の導入により手術が大きく進歩いたしました。高精細な3Dカメラを搭載し、自由度の高い多関節アームをもつda Vinci Xiの特性を生かすことで、開腹術や腹腔鏡下手術と比較して、非常に質の高い手術を安全かつ低侵襲で行うことができます。例えば前立腺癌に対するロボット支援下前立腺全

摘術では、癌の根治性を保ちつつ、精緻に神経を温存したり骨盤底の構造再建をしたりすることが可能となりました。これによりかつては術後3-6か月程度見られた尿失禁は、1-3か月程度で回復するようになりました。また腎癌に対するロボット支援下腎部分切除術もda Vinci Xi surgical systemの特性を活かせる手術で、癌の根治性と機能温存という相反する2つを高い次元で両立することができます。かつ、これを低侵襲かつ安全に行えるのは非常に大きなメリットです。2022年からロボット支援下手術の適応が大幅に拡大されたのを受けて、本年4月に京都大学から宮崎大学に着任した澤田を中心に、取り扱うロボット支援下手術を大幅に拡充いたします。膀胱癌に対するロボット支援下膀胱全摘除術やロボット支援下体腔内尿路変向術、腎盂・尿管癌に対するロボット支援下腎尿管全摘術や腎盂尿管移行部狭窄症に対するロボット支援下腎盂形成術といった最先端の手術を積極的に導入してまいります。現在、当院には「da Vinci Xi surgical system」を2台常備しておりますので、これらをフル活用して宮崎県の皆様に最高峰の手術をご提供したいと考えております。

医局に関しましてはこの10年間で多くの若い先生方に入局していただきましたが、宮崎県全体の問題でもある慢性的なマンパワー不足は継続しております。研修医の先生や医学部生に積極的に泌尿器科医療の重要性や魅力を伝えつつ、医局員の専門分野をフル活用し、大学病院のみではなく、地域医療連携を拡充し、各地域での診療、研究、教育を充実させていきたいと考えています。引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(准教授 澤田 篤郎)

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(小児科医会)

たかむら かずし
高村 一志 会長

令和4年度の宮崎県小児科医会としての活動は、令和4年10月9日に宮崎市で開催された第18回日本小児科医会生涯研修セミナーにつきまします。生涯研修セミナーとして4年ぶりの現地開催となったことは宮崎県小

児科医会としては光栄の極みでした。開催2年前から実行委員会にてほぼ毎月1回Webで準備をした甲斐があり、充実したセミナーとなりました。宮崎大学医学部看護学科 澤田浩武教授、宮崎大学医学部社会医学講座 生命・医療倫理学分野 板井孝彦教授、筑紫女学園大学人間科学部人間科学科初等教育・保育専攻教授、並びに特定非営利活動法人子どもとメディア専務理事 原陽一郎先生、宮崎大学医学部小児科 盛武浩教授、長崎大学医学部小児科 森内浩幸教授の先生方には各分野でのup dateな講演をしていただきました。宮崎大学役員補佐・次世代研究者支援室長 水光正仁先生には「本格焼酎の魅力」について講演していただき宮崎焼酎を全国に発信してもらいました。日本小児科医会学術教育委員会の高橋義博委員長からは講演の内容について高い評価をいただいたことをこの場で報告させていただきます。

令和4年度のMRワクチン接種率、特にMR1期が県内の市町村で軒並み前年度を下回っています。接種率が70%前後の地域もありました。宮崎市の接種率は93.1%でしたが実数では実に約220名が麻しん・風しん抗体を持っていないことになります。インバウンドの増加とともに日本国内に麻しんが持ち込まれ、すでに5月末には二次感染が発症しています。日本国内MR

の接種率が低迷しているとすれば今後麻しんが日本中で広がることは十分に考えられます。MRワクチンのキャッチアップなどの措置が必要になるかもしれません。また、子宮頸がん(HPV)ワクチンもキャッチアップも含めてなかなか進んでいません。小児科医会としても行政とともに問題意識を持って協働していきたいと考えています。

小児のCOVID-19陽性者が増加し始めてから県内の小児科外来はその対応に追われてきました。また同時期から小児のコロナワクチンが開始され、県内の小児科医は自院でコロナワクチン接種を行いながら集団接種にも積極的に参加してきました。ワクチン予防と感染症診療は小児科医の矜持であるということがほとんどの小児医療機関がコロナに対峙したことで示されたと思います。小児のコロナワクチンがなかなか浸透しないまま、COVID-19は5類に移行しました。多くの小児が抗体を持たないままコロナ前の日常生活に戻っていますので園・学校では今後COVID-19陽性者が再び増加に転ずることは想像に難くありません。今年は久しぶりに多くの種類の感染症を診ることとなりました。それらの感染症に加えて再びCOVID-19をたくさん診ることになりそうです。COVID-19対策をしながら他の多くの感染症を診ることは大変な苦労ですが、これも小児科医の仕事であろうと思われます。他にも小児の心の問題への対応、医師の働き方改革に伴う時間外診療、小児科医の高齢化問題、校医、園医のなり手不足など難問は山積していますが、小児科医の矜持を持って向き合っていきたいと思っています。小児医療へのご理解とご協力をどうぞお願いします。

日医インターネットニュースから

■物価高騰・賃上げ、トリプル改定で対応 — 国民医療推進協が決議 —

医療関係41団体でつくる国民医療推進協議会は5月31日、政府が6月にまとめる「骨太の方針」で、物価高騰と賃上げに2024年度トリプル改定で対応することを明記するよう求める決議を採択した。

決議の中では、必要財源の確保も政府に求めた。子ども政策は「大変重要」とした上で、「病や障害に苦しむ方々のための財源を切り崩してはならない」とも主張している。

政府は少子化対策の財源捻出に向け、医療・介護を含めた社会保障分野の歳出改革などを進める構えだ。

●社会保障を「後退させてはならない」

協議会の会長を務める松本吉郎・日医会長は、終了後に取材に応じ、政府の子ども政策について「しっかりとやっていかなければいけないと私たちも認識している」と説明。一方で、「社会保障全体を後退させてはならない」とも述べた。

(令和5年6月2日)

■保険証廃止で「資格確認書」を発行 — 改正マイナ法成立で —

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたマイナンバー法等改正案は6月2日の参院本会議で与党などの賛成多数で可決され、成立した。一部の規定を除き、公布日から1年3カ月以内に施行する。

法案では、2024年秋を目標に現行の保険証を廃止することに伴い、マイナカードでオンライン資格確認を受けることができない状況にある人が、必要な保険診療等を受けられるよう、本人からの求めに応じて「資格確認書」を提供することを定めた。

同法案は4月14日の衆院本会議で河野太郎デ

ジタル相が趣旨を説明し、審議入り。同27日には衆院を通過した。参院でも特別委員会で参考人質疑を終え、採決が近づいていた。

しかし、このタイミングで「マイナ保険証」に別人の情報がひも付けられていた問題や、住民票・印鑑登録証明書の誤交付などのトラブルが相次いで発覚。野党が追及を強めていたが、5月31日の特別委で可決された。

本会議の反対討論でも「保険証廃止方針を撤回するか、資格確認書を全ての国民に職権で交付すべきだ」「採決することが許されるのか。政府として総点検し、国会に対策を示すのが当たり前だ」などの声が上がった。

(令和5年6月6日)

■「日医君」「吉郎君」LINEスタンプ発売 — 角田副会長 —

角田徹副会長は6月7日の記者会見で、日本医師会をより身近に感じてもらうため、公式キャラクターである「日医君」と松本吉郎会長をモチーフとした「吉郎君」のLINEスタンプ(全40種類)を、翌6月8日から販売することを報告した。

「日医君」と「吉郎君」のスタンプについては、今年3月21日に8種類のスタンプを無料配布したが、配布直後に予定していた10万ダウンロードに達してしまったため、入手できなかった多くの人達より、「早く販売して欲しい」との声が寄せられていたことから、今回販売することになったものである。

LINEスタンプは、LINEストアでは120円、LINEスタンプショップではLINE上の通貨である50コインで購入が可能となっている(6月8日現在)。

角田副会長は「今回の40種類のスタンプは、日常的に使用しやすいものを中心に作成した」として、その利用を求めるとともに、日本医師

会のLINE公式アカウントにも触れ、「健康に関するさまざまな情報を提供しているので、ぜひ、友だち登録をお願いしたい」と呼び掛けた。

(令和5年6月9日)

■「命・健康が守れる診療報酬」を — 松本会長、日精協で呼びかけ —

日本精神科病院協会が6月9日に開いた定時社員総会で、来賓として出席した日本医師会の松本吉郎会長が挨拶に立った。2024年度トリプル改定に向け、「国民の命・健康が守れるような診療報酬」を目指すとし、協力を呼びかけた。

財務省の財政制度等審議会は5月下旬にまとめた建議で、トリプル改定について「巨額のコロナ補助金もあり、積み上がった資産の状況も含めて、医療機関・介護施設の財務状況を見ながら、引き上げの必要性について慎重に議論を行うべきだ」と提言した。

これを念頭に、松本会長は「コロナ補助金は、病院、診療所の医療関係者がしっかり対応した結果として頂いたものであって、診療報酬とは全く異なるものだ」と強調。「物価高騰、賃金アップに対し、公定価格で転嫁できないため、自民党にしっかり働きかけ、トリプル改定に向けてさらに頑張っていく」と述べた。

「財務省の厳しい対応が続いているが、何としてもわれわれの医療が壊れないように、国民の命、健康が守れるような診療報酬を望んでいる。力を合わせて頑張っていこう」と呼びかけた。

また、松本会長は、精神科領域の重要性は高まっていると指摘。日本の精神科医療の向上に向け、各団体が連携して積極的に取り組む姿勢を示した。

(令和5年6月13日)

■若手医師、地域医療の取り組み紹介 — 日医がシンポ —

日本医師会は6月11日、若手医師が自らの地域医療への取り組みを紹介するシンポジウムを開いた。若手医師4人が、研修医の連携や女性医師支援、多職種連携による在宅医療などの取り組みを報告。医師会との関わり方についても説明した。

シンポジウムの題名は「未来ビジョン "若手医師の挑戦"」。登壇者のうち、京都府医師会理事の堀田祐馬氏は、自身が京都府内の病院で研修医だった時、院内に同期の研修医が1人しかおらず、「自分が正しく成長できているか不安だった」と振り返った。

府医への働きかけにより地域の研修医によるネットワークを設立し、最終的には府医の「若手医師ワーキンググループ」を立ち上げたことを紹介。医師会を通じてネットワークを構築したことで、「出身や所属にとらわれない多様な視点を持つ仲間と出会うことができた」と述べた。

●新たな視点の提言、「非常に大事」

シンポジウム開催に当たって挨拶した松本吉郎会長は、「日医の『未来ビジョン』を巡る議論や提言は、なかなか多くの人の目に触れる機会がない。そのため、このシンポジウムをぜひやりたいと思っていた」と説明した。

「医療を取り巻く環境は、医療技術の進歩や少子高齢化などにより大きく変わっている。高度化・複雑化する中で、新たな視点での提言は非常に大事」だと強調。若手医師の意見を踏まえ、議論が活発化することに期待を示した。

(令和5年6月16日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

《休診共済のご案内》 ～医師の休業を補償します～

入院・自宅療養を問わず
通算 **800日** 迄
補償します

満 **89歳** 迄
新規加入OK!

医師の **診査** 不要!

【特長】

- 医師が医師のために作りあげた保険ですので  **保険料が割安** になっております。
- 疾病や災害による就業不能時の休業損害を通算最高 **800 日** まで補償します。
- お申込みにあたり、医師の診査は不要です。簡単な告知のみでご加入いただけます。
- 保険金は他の保険に加入と関係なく、支払われます。
- 満 **18 歳** から満 **89 歳** までの方が新規加入いただけます。
- 加入後は **1 年** ごとの自動更新です。
※面倒な更新手続きは不要です。更新時の健康状態にかかわらず更新します。

【補償内容】(こんなときに保険金をお支払いします)

病気	発病した疾病の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として5日以上継続して就業不能状態に陥った場合。 【疾病休業保険金】 <u>休業 5 日目</u> より加入口数に応じて給付。
災害	不慮の事故を直接の原因とする傷害の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として就業不能状態に陥った場合。 【災害休業保険】 <u>休業 1 日目</u> より加入口数に応じて給付。

- 入院、自宅療養を問わず、また病気、傷害を問わず幅広く補償します。
- 通算最高 800 日まで補償します。(一疾病、一傷害は、180 日を限度)
- 保険金の受取人は被保険者自身となります。

【保険金額と加入口数】

契約日または更新日の年齢	1 口	2 口	3 口
満 65 歳未満	日額 7,000 円	日額 14,000 円	日額 21,000 円
満 65 歳以上	日額 5,000 円	日額 10,000 円	日額 15,000 円

※保険料例（月払） ……40 歳 1 口 1,600 円 、 2 口 3,200 円 、 3 口 4,800 円

男女共通です

……45 歳 1 口 1,800 円 、 2 口 3,600 円 、 3 口 5,400 円

……50 歳 1 口 2,000 円 、 2 口 4,000 円 、 3 口 6,000 円

【年齢と加入口数の限度】

契約日または更新日の年齢	加入できる口数
満 18 歳から満 24 歳	1 口限度
満 25 歳から満 79 歳	3 口限度
満 80 歳から満 84 歳	2 口限度
満 85 歳から満 89 歳	1 口限度

【お問い合わせ先】

宮崎県医師協同組合

TEL : 0985-23-9100

FAX : 0985-23-9179

医師国保組合だより

今年度も健康診断費用の助成を実施しております。日曜日健診もごさいますのでぜひご利用ください。

(実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月末日 請求期限：令和6年5月17日)

1) 対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者(被保険者) ※配偶者は75歳の誕生日前日まで
上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方(年度中に75歳になる75歳未満の方も含む)

2) 実施機関

① 宮崎市郡医師会病院 健診センター

I 平日および土曜日(午前のみ)… 予約は直接健診センターへ(☎0985-77-9108)

II 日曜日健診(下記の日程)… 予約は当組合へ(☎0985-22-6588) Web申込もできます!⇒



年	月 日	日曜日健診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡 検査 (定員各6名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各8名)	マンモグラフィ 検査 (定員若干名)
令和5年	10月15日	○	×	×	○
	11月19日	○	×	○	○
	12月10日	○	×	△	○
令和6年	1月21日	○	×	△	○
	2月25日	○	×	×	○
	3月10日	○	△	○	○
	3月24日	○	○	○	○

(令和5年6月13日現在) ○：予約可, △：残り枠わずか, ×：予約不可

② 健診機関または医療機関(自院で実施しても請求可能)

<各種届出様式の押印見直しについて>

組合員の先生方の手続き時における負担軽減を目的とし、当組合が定める届出様式などについて、押印の見直しを行いました(一覧表を当組合のWebサイトに掲載しておりますのでご確認ください)。

Webサイトからダウンロードいただく様式などは順次改訂しますが、旧様式を利用される際にも同様の取り扱いといたします。なお、一部様式については今後も押印を求めることとなりますのでご了承ください。

<高齢受給者証の更新について>

70～74歳の被保険者の方に交付しております「高齢受給者証」の有効期限が7月31日までとなっております。新しい「高齢受給者証」は、7月下旬頃、高齢受給者証記載の住所宛に郵送(簡易書留)いたします。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問合せください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL: 0985-22-6588 FAX: 0985-27-6550

※各種申請書は、当組合Webサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

追 悼 の こ と ば

延岡市医師会

こ だま ひで あき
児 玉 英 昭 先生

(昭和22年9月29日生 75歳)

弔 辞

本日、亡き児玉英昭先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

6月1日の深夜、児玉先生のあまりにも急な、お知らせにただただ驚くとともに、私ども医師会の重鎮ともいべき先生を失った悲しみと、寂しさで申し上げる言葉もございません。

ましてや、ご家族、ご遺族の方々、延岡共立病院赤須巖会長をはじめ、児玉先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみはいかばかりかとお察しいたしますとともに、衷心よりお悔やみ申し上げます。

児玉先生は、昭和22年9月29日、大分県日田市でお生まれになりました。

昭和50年、熊本大学医学部をご卒業後、熊本大学医学部第一内科に入局されました。昭和52年には自治医科大学循環器内科の勤務を経られ、その後、済生会熊本病院で研鑽を積まれました。昭和55年からは宮崎県立延岡病院内科のご勤務となられ、延岡地域の代表的な循環器内科医師として、多くの患者さんの治療にあたられました。

平成12年には宮崎県立延岡病院副院長に就任され、平成15年には宮崎県福祉保健部参事となりました。同年に退官されたのち、再び延岡で地域医療を実践すべく延岡共立病院での診療に携わられ、名誉院長として昼夜を問わず献身的な診療にあたられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄でした。更に、地域医療についても深い関心と信念をお持ち

ちでした。地域住民の健康管理、保健衛生の指導にご尽力され、地域の皆様から絶大なる信頼と尊敬を受けておられました。

先生は医師会活動にも目を向けられ、平成2年から3年までの2年間と、平成12年から14年までの3年間は、延岡市医師会理事として、延岡医学会を担当され、医学と医術の向上のため、多数の学術講演会の開催にご尽力なさいました。

また、医師会入会時の昭和61年から平成15年までの17年間、延岡市医師会の心臓検診班の一員として、長年にわたりその重責を担われておられました。

更に、延岡共立病院の赤須巖会長とともに、発起人として「延岡循環器懇話会」を立ち上げられ、延岡市の循環器疾患の治療普及、啓発に力を尽くされました。

このように延岡市医師会会員としてご活躍いただいた先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり、痛恨の極みであります。

個人的なことで恐縮ではございますが、平成3年8月から私が県立延岡病院の医師公舎に住いました折に、お隣が児玉先生ご一家でした。私の妻や子供たちも大変仲良くしていただきました。当時、小学生でいらしたお子様方も立派に成長され、時の流れを感じます。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に対し尽くしてこられたご功績を忘れることなく、先生のお示しいただきました地域医療、更には医師会運営に取り組む真摯なお姿を心に刻みながら、会員一同地域医療の発展向上に、一層の努力をしてまいります。

児玉英昭先生、どうぞ安らかに眠りください。

令和5年6月4日

一般社団法人 延岡市医師会
会長 佐藤 信博

お知らせ

令和5年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると、医師事務作業補助者になるための「**32時間以上の基礎知識習得研修が免除**」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいり所存ですので、会員諸先生方におかれましては、今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、なにとぞ、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

【就職希望者】 10名（男0名、女10名）

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子

社会保険診療報酬請求書審査委員会委員名簿（医科）

（任期 令和5年6月1日～令和7年5月31日）

（○印は新任）

科 名	氏 名	科 名	氏 名
内 科	石 川 正	外 科	岩 村 威 志
”	稲 津 東 彦	”	迫 田 哲 平
”	大 岐 照 彦	”	下 藺 孝 司
”（放射線）	杜 若 陽 祐	”	白 尾 一 定
”	作 直 彦	”	坪 内 斉 志
”	澤 野 文 俊	”	北 條 浩
”	塩 見 一 剛	”	横 上 聖 貴
”	重 平 正 文	”	吉 松 正 明
”（東 洋）	玉 置 昇	整形外科	○ 黒 木 修 司
”	○ 中 尾 紘 一	”	福 嶋 秀一郎
”	中津留 邦 展	”	松 本 宏 一
”	名 越 敏 郎	皮 膚 科	天 野 正 宏
”	比 嘉 利 信	”	黒 川 基 樹
”	村 田 光 宏	泌 尿 器 科	月 野 浩 昌
”	山 口 哲 朗	”	福 田 聡一郎
”	山 口 秀 樹	産 婦 人 科	嶋 本 富 博
”	山 下 清	”	下 村 直 也
”	山 中 篤 志	”	肥 後 貴 史
精 神 科	井 上 雅 文	眼 科	川 原 亮 輝
”	○ 堀 徹 也	”	森 山 重 人
小 児 科	此 元 隆 雄	耳 鼻 咽 喉 科	外 山 勝 浩
”	高 木 純 一	”	松 田 圭 二

五十音順

ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介しますコーナーです。

(新A会員)

あお やま たけ し
青 山 剛 士

宮崎市

あおやま訪問・救急クリニック



略 歴

平成17年 自治医科大学医学部卒業 県立宮崎病院初期研修
平成19年 五ヶ瀬町国民健康保険病院内科
平成20年 椎葉村国民健康保険病院内科
平成22年 長崎医療センター救急科
平成23年 美郷町国民健康保険南郷診療所内科
平成25年 県立宮崎病院救急・総合診療センター救命救急科地域医療科
令和3年 米盛病院救急科総合診療科
令和5年 あおやま訪問・救急クリニック開業

趣 味

アウトドア

抱 負

1979年に宮崎市に生まれ、大宮小・大宮中・宮崎県立宮崎西高校・自治医科大学を卒業しました。初期研修後、内科医として宮崎県内の中山間地域でへき地医療に従事しました。その後、県立宮崎病院などで救急医・総合医としてドクターカー・ドクターヘリによる病院前診療（出動件数1,000件以上）から救急・集中治療、総合診療などを行ってきました。救急往診、在宅医療を中心に宮崎の地域医療に貢献したいと考えています。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

住 所

宮崎市池内町榎迫523-25

電話番号

050-5530-4013

6月のベストセラー（宮崎県）

集計：2023年6月1日～6月25日

1	柳橋の桜①猪牙 ちよき の娘	佐伯泰英	文春文庫
2	竈稻荷 へつづい の猫	佐伯泰英	光文社文庫
3	変な絵	雨穴	双葉社
4	街とその不確かな壁	村上春樹	新潮社
5	正欲	朝井リョウ	新潮文庫
6	汝、星のごとく	風良ゆう	講談社
7	三千円の使いかた	原田ひ香	中公文庫
8	くもをさがす	西加奈子	河出書房新社
9	人は話し方が9割	永松茂久	すばる舎
10	裁判官の爆笑お言葉集	長嶺超輝	幻冬舎新書

明林堂書店調べ 提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985) 56-0868

**令和5年5月9日(火) 第3回全理事協議会****(医師会関係事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

- ①ひなたの出逢い・子育て応援運動「子育て応援部会」に係る委員の指名について
→県に新たに設置される「子育て応援部会」で、本会で女性医師等向けの保育支援サービスの担当をしている上山理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

- ①9/1(金)(県医)県医師獣医師連携セミナーの後援名義使用の依頼について
→「SFTS」に関するセミナーで、名義後援をすることが承認された。

3. 6/11(日)(日医)シンポジウム「未来ビジョン “若手医師の挑戦”」の開催について

次世代の医療を中心的に担う若手医師の取り組みを通して国民の信頼に応えていく医療の在り方等を考えるシンポジウムで、河原理事の出席が承認された。また、日医からの案内を郡市医師会にも周知することになった。なお、日医の未来医師会ビジョン委員として大塚常任理事も出席をする。

4. 6/25(日)(日医)第154回日本医師会定例代議員会の開催について

令和4年度の決算の審議や日本医師会常

任理事選挙が行われる代議員会で、河野会長が日医監事として、山村・小牧副会長、市来・吉田常任理事が日医代議員として出席することが承認された。

5. 6/25(日)(日医)第154回日本医師会定例代議員会における九州ブロック代表質問について

山村副会長から、「難病医療での問題点について」質問を提出することと、他に質問があれば事務局を經由して会長に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

6. 7/18(火)(日医)令和5年度第1回都道府県医師会会長会議の開催について

河野会長が出席することが承認された。また、今回のテーマである「医薬品を巡る諸課題について」に関し意見や質問があれば、事務局に提出し、取扱いについては会長一任とすることが承認された。

7. 5/13(土)(シーガイア)各郡市医師会(連盟)役員等連絡協議会について

日医松本会長をお招きし「中央情勢報告」に関する講演を行っていただく協議会で、当日の役割分担や進行の流れについて確認し承認された。

8. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

感染症発生動向調査事業に協力をする指定届出機関について、小児科定点(インフルエンザ定点も兼ねる)医療機関の辞退に伴う推薦依頼があり、1医療機関を推薦することが承認された。

9. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員の選出について

「保険者を代表する委員」である精神科医会推薦の委員の辞任に伴い、県精神科医会から後任の推薦があり、県医師会として承認することとした。

10. 5/25(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、大塚常任理事を立会人として派遣することが承認された。

11. 8/20(日) 中四九地区医師会看護学校協議会開催のご案内ならびに参加申込等について

「医師会立看護学校の未来構想」をテーマに開催される協議会に赤須常任理事が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4月末日現在の会員数について
3. 4/18(火) (県医) 日医理事会等について
4. 4/25(火) (宮観ホテル) 未来の医療を語るオールみやざき交流会について
5. 4/27(木) (県医) 日医財務委員会について
6. 4/27(木) (県医) 日医医師年金監査について
7. 5/9(火) (県医) 九医連常任委員会について
8. 4/27(木) (県防災庁舎) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
9. 4/28(金) (県医) 第2回新型コロナ位置づけ変更に伴う医療提供体制等についての研修会について
10. 4/27(木) (県医) 全国学校保健・学校医大会実行委員会について
11. 4/26(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
12. 4/5(水) (県医) 医家芸術展世話人会について
13. 4/24(月) (県医) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 5/27(土) (JA-AZM) 総務会並びに県連大会のご案内について
所用のため、欠席することが承認された。
2. 6/4(日) (宮観ホテル) 「参議院議員 松下

新平政経セミナー」のご案内について

自民党総務会長の遠藤利明衆議院議員を講師に迎え開催されるセミナーで協力をすることが承認された。

3. 6/12(月) (東京) 敬人会勉強会のご案内について

「医療DX推進の工程表」をテーマに加藤勝信厚生労働大臣との対談形式で開催される勉強会で、協力をすることが承認された。

令和5年5月23日(火) 第2回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による日医及び県医会費減免の継続1名と、高齢による日医及び県医会費減免の新規1名、高齢による日医会費減免2名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県連携協議会への参加について

→県新型コロナウイルス感染症対策協議会が5類移行により廃止されたことに伴い新たに設置される協議会で、県感染症審議会委員と重複しない公衆衛生担当副会長と担当理事を推薦することとなり、担当副会長である山村副会長と副担当理事である峰松理事が参加することが承認された。

②県立病院事業評価委員会委員への就任について

→県立病院の事業経営計画の進捗状況等について評価提言を行う委員会委員の任期満了に伴う就任依頼で、引き続き河野会長が委員に就任することが承認された。

③令和5年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦につ

いて

→日医認定医療秘書を養成する都道府県医師会で構成される協議会の令和5年度の委員の推薦依頼があり、引き続き常任委員に山村副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

④九州学校検診協議会理事及び専門委員の推薦について

→会則変更による新たな役職としての推薦依頼があり、理事として河野会長、小牧副会長、高木常任理事。専門委員として腎臓部門は宮田純一先生、小児生活習慣病部門は澤田浩武先生、運動器部門は帖佐悦男先生・黒木浩史先生を推薦することが承認された。なお心臓部門の専門委員会へは高木常任理事が理事として出席をする。

3. 令和6年春の叙勲候補者の推薦について

学校医歴が40年以上、かつ年齢が70歳以上の方を推薦基準とする表彰で、各郡市医師会に照会の結果、1名を推薦することが承認された。

4. 6/3(土)(別府市)九州ブロック日医代議員協議会の開催について

6月25日(日)に行われる日医常任理事選挙について協議するために開催される協議会で、河野会長と日医代議員の山村・小牧副会長、市来・吉田常任理事の5名が出席することが承認された。

5. 6/24(土)(東京)九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会の開催について

6月25日(日)の日医定例代議員会の前日に開催される懇親会で、河野会長と日医代議員の山村・小牧副会長、市来・吉田常任理事の5名が出席することが承認された。

6. 6/25(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議の開催について

6月25日(日)の日医定例代議員会に先立っ

て開催される連絡会議で、河野会長と日医代議員の山村・小牧副会長、市来・吉田常任理事の5名が出席することが承認された。

7. ピンクリボン活動みやざき賛同団体継続の確認及び協賛金のご協力依頼について

乳がんの早期発見・診断・治療の重要性を啓発する活動を行っている事業で、引き続き賛同団体となること及び協賛することが承認された。

8. 業務委託について

①令和5年度症例研究会開催事業の委託契約について

→小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図ることを目的に、県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和5年度ロコモ予防運動推進事業の委託契約について

→「健康寿命社会」の実現のため、県民に対しロコモティブシンドロームに関する知識や予防のための運動の普及等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和5年度産業医研修事業の委託契約について

→認定医向けの生涯研修会と研修会を円滑に行うための産業医研修連絡協議会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

9. 6/18(日) 第28回日本医師会認定健康スポーツ医制度再研修会における座学受講会場の実施について

より多くの認定健康スポーツ医が受講できるよう県医師会館をWebによるライブ配信を受ける座学受講会場とすることが承認された。

10. 7/10(月)(福岡)福岡県医師会「医師会再

生ビジョン委員会」視察について

本会の取組みの参考にするために福岡県の取組みを視察することが承認された。

(報告事項)

1. 5/16(火) (県医) 日医理事会について
2. 5/17(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
3. 5/23(火) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について
4. 5/12(金) (福岡) 九州地方社会保険医療協議会総会について
5. 5/15(月)・5/22(月) (県医) 広報委員会について
6. 5/11(木) 日医医療経営検討委員会について
7. 5/13(土) (シーガイア) 各郡市医師会 (連盟) 役員等連絡協議会について
8. 5/14(日) (福岡) レジナビフェアについて
9. 5/11(木) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について
10. 5/19(金) (県医) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
11. 5/21(日) (県医) 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会動画撮影について
12. 5/22(月) (県医) 県認知症疾患医療センター合同会議について
13. 5/22(月) (県医) 在宅医療協議会役員会について
14. 5/16(火) (宮大医学部) 宮大医学部認定再生医療等委員会について
15. 5/15(月) (県医) 産業医部会理事会について
16. 5/20(土) (県医) 産業医部会総会・研修会について

医師連盟関係**(議決事項)**

1. 令和6年度国・県に対する政策・予算等要望の受付について

7月28日(金)に行われるヒアリングに向けて要望書を作成することとなった。また、

ヒアリング出席者については河野委員長、山村・小牧常任執行委員が出席することが承認された。

2. 7/1(土) (MRT-micc) 参議院議員 長峯誠 政経セミナーのご案内

参議院国会对策委員長代行である佐藤正久参議院議員を講師とした政経セミナーで、協力することが承認された。

3. 6/3(土) (宮観ホテル) 自民党宮崎県第一選挙区支部総会開催について

九州医師会連合会諸会議に出席のため、欠席することが承認された。

令和5年5月30日(火) 第4回全理事協議会

医師会関係**(議決事項)**

1. 本会外の役員等の推薦について

- ①県難病対策協議会委員の推薦及び就任について

→難病医療提供体制の整備を目的として設置される委員会の任期満了に伴う委員の推薦依頼で、引き続き金丸常任理事を推薦することが承認された。

2. 業務委託について

- ①令和5年度医師養成・確保支援事業の委託契約について

→医師のキャリア形成と県内の医師不足解消を目的に、高校生向け説明会、県内の臨床研修病院や専門医プログラムの説明会などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

- ②令和5年度生きる力を育む健康教育推進事業「専門医による性に関する相談事業」の委託契約について

→10代の人工妊娠中絶、性感染症、性の逸脱行動等、性に関する諸問題の解決を目的に、専門医が児童生徒、教職員

及び保護者等を対象に行う相談事業で、契約を締結することが承認された。

③令和5年度家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業の委託契約について

→思いがけない妊娠の防止や家族計画・避妊指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの作成等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

④令和5年度不安を抱える妊婦への分娩前新型コロナウイルス検査業務の委託について

→県と宮崎市が実施主体となり、不安を抱える妊婦に対して分娩前に新型コロナウイルス感染症の検査を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

⑤令和5年度女性医師等就労支援事業の委託契約について

→女性医師等が仕事と家庭の両立を図り、医師として働き続けられる環境作りを支援することにより本県の医師確保を図る事業で、契約を締結することが承認された。

⑥令和5年度災害時リハビリテーション機能強化事業に係る業務の委託契約について

→JMATやJRAT（災害リハビリテーション支援チーム）に対し、多職種連携の推進や災害時対応手法に関する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

3. 令和5年度産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた産科医・団体等に対する表彰で、1名を推薦することが承認された。

4. 令和5年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献してきた医師等に対する表彰で、1名を推薦することが承認された。

5. 令和5年度救急医療功労者知事表彰候補者の推薦について

救急医療対策の推進等、救急医療の確保に貢献した医師等に対する表彰で2名を推薦することが承認された。

6. 7/25(火)（県医）各都市医師会長協議会について

開催することが承認された。議題については、7/18(火)に日医で開催される都道府県医師会長会議の報告等のほか、各都市医師会にも照会する。また、役員から議題があれば事務局に提出することとなった。

7. 6/14(水)（日医）「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」に関する説明会の開催について

「かかりつけ医機能」をはじめ「後期高齢者負担率」「出産時一時金支給額の引き上げ」「医療法人等の経営情報のデータベース化」等多岐にわたる内容の説明会で、山村副会長と金丸常任理事がWeb会議で出席することが承認された。また他の役員で出席希望する場合は事務局に申し込むこととした。

8. 6/22(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。

9. 母体保護法の指定申請について

医師の申請1名を母体保護法指定医師審査委員会の答申通り指定することが承認された。

10. 6・7月の行事予定について (報告事項)

1. 週間報告について

2. 5/28(日) (東京) 全国有床診療所連絡協議会
常任理事会について

3. 5/26(金) (県婦人会館) 県移植推進財団定例
理事会について

4. 5/12(金) 日医医師会共同利用施設検討委
員会について

5. 5/26(金) (県医) 学校医部会理事・評議員会
について

6. 5/25(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方
社会保険医療協議会宮崎部会について

7. 5/25(木) (九州厚生局宮崎事務所) 社会保険
医療担当者の個別指導について

8. 5/26(金) 日医公衆衛生委員会について

9. 5/27(土) (県医) 死体検案研修会について

10. 5/27(土) (三重) 男女共同参画フォーラムに
ついて

11. 5/24(水) (県医) 都道府県医師会勤務医担当
理事連絡協議会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 公明党宮崎県本部「政策要望懇談会」開催
のご案内について

懇談会は欠席し、別途要望書を提出する
ことが承認された。

(報告事項)

1. 5/29(月) (宮崎観光ホテル) 県経済団体協議
会懇談会について

2. 5/28(日) (東京) 日本医師連盟医政活動研究
会について

あなたできますか？(医師国家試験問題より)(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a, b, e	a, c, d	d	d	b	d	a, b	b	d	e

あなたできますか？番外編(獣医師国家試験より)(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
b	b	b	3	1	c	b	a	3

番外編いかがでしたでしょうか？

本会は県獣医師会と学術協力の推進に関する協定を結んでいます。このたび、医師・獣医師を対象としたSFTSに関するセミナーが9月1日(金)19時から県医師会館で開催されます。近年ネコを中心としたペットからヒトへの感染事例も認められています。ぜひご参加ください。

詳細は下記URLまたは本誌67ページをご覧ください。

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/news/2023/05/91r4.html>



県 医 の 動 き

(6月)

1	宮大医学部医の倫理委員会（大塚常任理事） 日医医療秘書認定試験委員会（Web会議） （池井常任理事） 県健康づくり推進協議会（山村副会長） 医師国保組合理事会（秦理事長他） 医療安全対策Webセミナー（Web会議） （市来専務理事）	15	日医地域包括ケア推進委員会（Web会議） （石川常任理事）
2	県高次脳機能障がい支援連絡会議（吉田常任理事） 県有床診療所協議会4役員会	17	医協通常総代会（河野理事長他） 県医連執行委員会（河野委員長他） 県医定例代議員会（会長他） 県医総会（会長他）
3	（別府）九医連常任委員会（会長） （別府）九州ブロック日医代議員協議会（会長他） （別府）九州ブロック日医代議員連絡会議（会長他）	18	日医認定健康スポーツ医制度再研修会 （東京）レジナビフェア（金丸常任理事） 全国有床診療所連絡協議会役員会（Web会議）（会長）
5	県循環器病対策推進協議会（金丸常任理事） 県知事との懇談会（会長）	19	宮大経営協議会・学長選考・監察会議（会長） 広報委員会（荒木常任理事他）
6	県学校保健会理事・評議員会（会長他） 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣 表彰及び県教育長表彰審査会（会長他） 第1回理事会（会長他） 第5回全理事協議会（会長他）	20	医協理事会（河野理事長他） 医協理事・運営委員合同協議会（Web会議） （河野理事長他） 第6回全理事協議会（Web会議）（会長他） 県整形外科医会理事会
7	日医紹介受診重点医療機関に関する説明会（都 道府県医師会外来機能報告担当理事連絡協議 会）（Web会議）（金丸常任理事他） 県感染症対策連携協議会（山村副会長他） 県アイバンク協会理事会（Web会議）（会長） 県糖尿病対策推進会議小幹事会（金丸常任理事） 日本産科婦人科学会専門医制度宮崎地方委員 会（嶋本常任理事）	22	社会保険医療担当者の個別指導（石川常任理事） 県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 （Web会議）（池井常任理事） 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・ 学術大会実行委員会（玉置理事） 県産婦人科医会医療対策委員会（Web会議）
8	県保険者協議会（山村副会長他） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他） 宮崎信販との懇談会（会長他）	23	医師国保組合定例事務監査（秦理事長他）
9	（熊本）全国国保組合協会通常総会（秦理事長他） 県健康づくり協会理事会（嶋本常任理事） 宮大医学部生対象マッチング登録説明会&県内 基幹型臨床研修病院合同説明会（金丸常任理事） 県がん対策審議会（会長）	24	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理 事会（石川常任理事） （都城市）県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総 会・研修会（石川常任理事） （東京）九州ブロック日医代議員連絡会議懇親 会（会長他）
10	県知事との懇談会（会長）	25	（日医）九州ブロック日医代議員連絡会議（会長他） （日医）日医定例代議員会（会長他）
11	（日医）シンポジウム「未来ビジョン」若手医 師の挑戦」（大塚常任理事他）	26	（日医）日医地域医療対策委員会（山村副会長） 園医部会理事会（Web会議）（小牧副会長他）
12	県がん診療連携協議会（Web会議）（会長） 広報委員会（荒木常任理事他）	27	日医監事会（Web会議）（会長） 日医役員勉強会（Web会議）（会長） 日医理事打合会（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本常任理事）
13	第3回常任理事協議会（会長他）	28	労災診療指導委員会（赤須常任理事他）
14	日医「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を 構築するための健康保険法等の一部を改正する法 律」に関する説明会（Web会議）（山村副会長他） 県移植推進財団定時評議員会（会長） 支払基金審査運営協議会（会長） 顧問弁護士との意見交換会（会長他）	29	（小林市）社会保険医療担当者の個別指導 （吉見常任理事） 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会 （河原理事）
		30	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 県歯科保健推進協議会実務者会議（吉見常任理事） 県精神科救急医療システム連絡調整委員会 （吉田常任理事他） （大分）九州各県保健医療福祉主管部長・九州 各県医師会長合同会議（会長） 病院部会・医療法人部会定時総会（池井常任理事他）

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和5年6月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 9人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	5	2	3
放射線科	1	1	0
検診	2	0	2
老健	1	0	1

2. 斡旋成立件数 91人

	合計
令和5年度(4/1～6/1)	1
平成16年度から累計	91

3. 求人登録 96件 322人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	90	72	18	消化器外科	3	2	1
外科	26	21	5	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	3	2	1
精神科	11	9	2	泌尿器科	5	3	2
脳神経外科	10	6	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	12	9	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	14	2	皮膚科	4	2	2
麻酔科	10	8	2	婦人科	2	2	0
眼科	9	7	2	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	10	9	1	人工透析	8	6	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	2	2	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	6	5	1	診療科目不問	3	3	0
脳神経内科	7	5	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	9	8	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	5	5	0	その他	9	6	3
救命救急科	9	9	0	合計	322	256	66

求 人 登 録 者 (公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	健診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,神内,リハ,整,循内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診	1	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	マナビヤ在宅クリニック	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼,皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社) 藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社) 藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医)社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230226	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内 (いずれか)	1	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医)聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	社医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医)文誠会 百瀬病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230228	医)和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医)養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和5年6月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台) 所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台) 所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫 所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台) 所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台) 所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyout@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

T E L：

F A X：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年6月26日

7			月		
1	土	14:00 参議院議員長峯誠政経セミナー	19	水	
2	日	11:00 (大阪) レジナビフェア 11:00 (福岡) 自見はなこ政経セミナー 12:45 (福岡) 自見はなこ議員・松本日医会長との意見交換会	20	木	
			21	金	14:00 (日医) 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 15:00 (日医) 日医医師会共同利用施設検討委員会 19:00 医師国保組合通常組合会
3	月	18:00 県医療審議会及び医療介護推進協議会	22	土	14:50 県整形外科医会評議員会 15:00 県外科医会理事会 15:15 県整形外科医会総会 15:30 県外科医会総会 16:00 労災部会総会(Web会議) 16:00 (東京) 日医未来医師会ビジョン委員会 17:00 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会(Web会議)
4	火	18:30 第7回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会			
5	水	14:00 日医有床診療所委員会(Web会議) 18:30 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会			
6	木	14:00 宮大医学部医の倫理委員会 19:00 医師国保組合理事会			
7	金		23	日	9:00 (東京) 日医未来医師会ビジョン委員会
8	土	9:25 看護進路相談会 14:30 産業医研修会(実地) 16:00 県専門研修プログラム合同説明会 17:00 (長崎) 九医連常任委員会 17:30 (長崎) 九州医連連絡会常任執行委員会			
			24	月	13:30 県国民健康保険運営協議会 19:00 広報委員会
9	日		25	火	18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第8回全理事協議会 19:00 各都市医師会長協議会
10	月	19:00 広報委員会 19:00 (福岡) 福岡県医「医師会再生ビジョン委員会」視察			
11	火	19:00 第4回常任理事協議会 19:00 県有床診療所協議会役員会(Web会議)	26	水	15:00 労災診療指導委員会 19:00 勤務医部会理事会(Web会議)
12	水	16:00 支払基金審査運営協議会	27	木	11:15 県国保連合会理事会 13:00 (日医) 日医地域包括ケア推進委員会 13:00 県国保連合会通常総会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
13	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会(Web会議) 19:00 臨床検査精度管理調査実行委員会(Web会議) 19:00 県糖尿病対策推進会議幹事会			
			28	金	13:00 自民党県連国・県に対する政策・予算等要望ヒアリング 18:00 自民党県連政策懇談会 19:00 各都市内科医会長会
14	金	14:00 (日医) 日医勤務医委員会			
15	土	17:00 (大分) 九州医師会連合会監査会	29	土	13:45 県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会(Web会議)
16	日				
17	月	(海の日)	30	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 9:00 (日医) 日医JMAT研修オプション研修(COVID-19編)
18	火	10:00 (日医) 日医監事会 13:00 (日医) 日医理事打合せ 13:30 (日医) 日医理事会 15:00 (日医) 都道府県医師会長会議・懇親会			
			31	月	

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和5年6月26日

8			月		
1	火	19:00 第5回常任理事協議会	18	金	18:30 勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議)
2	水	14:00 県ジェネリック医薬品安心使用 促進協議会	19	土	(沖縄)九州地区医師国保組 合連合会全体協議会 14:00 県小児科医会子ども健康セミナー
3	木	13:30 県地方独立行政法人評価委員会			
4	金	14:30 日医有床診療所委員会 18:30 県外科医会夏期講演会	20	日	8:30 中四九地区医師会看護学校協 議会(Web会議) 9:00 人体シミュレータを用いた在宅 医療研修会
5	土	9:00 県産婦人科医会新生児蘇生法講 習会			
		15:00 (熊本)九州学校検診協議会専 門委員会	21	月	19:00 広報委員会 19:00 学校医部会総会・医学会(Web 会議)
		16:00 (熊本)九医連常任委員会			
		17:00 (熊本)九州学校検診協議会役員会 18:00 (熊本)九州各県学校保健担当 理事者会	22	火	10:00 (日医)日医監事会 13:00 (日医)日医理事打合会 14:00 (日医)日医理事会
6	日	9:00 (熊本)九州ブロック学校保健・ 学校医大会/九州学校検診協議会	23	水	
		11:30 (熊本)九医連学校医会評議員会	24	木	
7	月	19:00 宮崎の医療を考える会(若手記 者と広報委員会との懇談会)	25	金	19:00 認知症サポート医・かか りつけ医スキルアップ研 修会(Web会議)
8	火	19:00 第9回全理事協議会(Web会議)	26	土	(長崎)九州医連連絡会 執行委員会 (長崎)九医連常任委員会 (長崎)九医連定例委員 総会 14:30 産業医研修会(前期) 14:30 在宅医療協議会総会・研 修会
9	水				
10	木	19:00 かかりつけ医機能に関する研修 会(Web会議)			
11	金	(山の日) 13:30 県訪問看護ステーション連絡協 議会総会・研修会(Web会議)			
12	土		27	日	10:00 日医かかりつけ医機能研 修制度 令和5年度応用 研修会
13	日				
14	月		28	月	
15	火		29	火	医協理事会 医協理事・運営委員合同協議会 第10回全理事協議会 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会
16	水	16:00 支払基金審査運営協議会			
17	木	19:00 県産婦人科医会全理事会(Web 会議)			
			30	水	15:00 労災診療指導委員会
			31	木	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ



作品募集集中

生命

いのち

第7回

を見つめる フォト&エッセー

フォト 部門

エッセー 部門

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門



岩合光昭
動物写真家
©Machi Iwago



奈緒
俳優 他

■ エッセー部門



養老孟司
東京大学名誉教授
/ 解剖学者



玄侑宗久
作家 / 福原守佳 職



水野真紀
俳優 他

応募締め切り
**2023年
10月4日** 水

必着

公式ホームページ <https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/> **生命を見つめるフォト&エッセー 検索**

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社





生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2020年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点までに限りです。



一般の部

厚生労働大臣賞(1点) 賞金10万円、賞状他
日本医師会賞(1点) 賞金10万円、賞状他
読売新聞社賞(1点) 賞金10万円、賞状他
審査員特別賞(数点) 賞金5万円、賞状他
入選(数点) 賞金3万円、賞状他

小中高生の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード3万円分、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード5,000円分、賞状他

応募締め切り

2023年10月4日(水) 必着



病气やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定の「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。
【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。

- 応募は1人1点までに限りです。
- チャット GPTを利用して文章を作成した作品は応募できません。



一般の部

厚生労働大臣賞(1点) 賞金30万円、賞状他
日本医師会賞(1点) 賞金30万円、賞状他
読売新聞社賞(1点) 賞金30万円、賞状他
審査員特別賞(数点) 賞金10万円、賞状他
入選(数点) 賞金3万円、賞状他

中高生の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード3万円分、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード5,000円分、賞状他

小学生の部

文部科学大臣賞(1点) QUOカード1万円分、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード5,000円分、賞状他

応募規定

■応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。

■応募作品は返却いたしません。

■入賞作品の発表は、2024年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。

■表彰式は2024年2月に東京都内で実施予定です。

■医師および医療従事者も応募可能です。

※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

作品送付先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F
「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- ◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- ◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。

公式ホームページ QRコード



【問い合わせ】読売新聞東京本社 次世代事業部「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局 Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

応募用紙 ※氏名は実名のみの受付となります。

応募部門	フォト部門 一般の部	フォト部門 小中高生の部	エッセー部門 一般の部	エッセー部門 中高生の部	エッセー部門 小学生の部	題名
氏名	ふりがな					年齢
住所	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 都道府県 〇〇市 〇〇区 〇〇丁目 〇〇番 〇〇号					職業(学校名・学年)
MAIL	@					
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影場所	撮影機材			
	20 年 月 日					
確認の上、チェックを入れてください	☐ この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません ☐ この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません ☐ 入賞作品は、主催者、協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名、年齢、作品、顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します ☐ (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません					
本コンテストに	(1) このチラシを見て (2) 読売新聞を見て (3) 読売新聞ホームページを見て (4) 日本医師会ホームページを見て (5) 日本医師会公式 YouTube チャンネルを見て (6) 日本医師会からのお知らせを見て (7) 学校(小・中・高・大・専門)で見て (8) 公募サイトで見て(具体的に:) (9) その他(具体的に:)					

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。

※(キリトリ)

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月5日(水) 19:00～21:00 県医師会館	今日のうつ病と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月6日(木) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	石綿(アスベスト)の労働衛生環境対策 ～建築物解体等を中心に～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 (Web講習会) 7月6日(木) 19:00～20:30 未来創造ステーシ ョン ※受講は現地また はWeb	関節リウマチ治療の過去・現在～今後の課題～ 松山医院 院長 生涯研修の専門研修会：2単位 ----- 関節リウマチ治療戦略におけるTNF阻害薬の果たす役割 ～プレシニア世代に対する治療を中心に～ 宮崎善仁会病院 リウマチセンター 所長 日高 利彦	59 (0.5) 61 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 田辺三菱製薬(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
南那珂医師会生涯教育医学会 (Web講習会) 7月7日(金) 19:00～20:00 南那珂医師会館2階大ホール ※受講は現地またはWeb	糖尿病治療 次の一手を考える～薬物療法の新展開～ 二田哲博クリニック 院長 下野 大	7 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 住友ファーマ(株)
第82回都城心臓血管懇話会 (Web講習会) 7月7日(金) 19:00～20:10 未来創造ステーション ※受講は現地またはWeb	SGLT2阻害薬で進化(深化)する心不全薬物療法～かかりつけ医と循環器専門医の共通認識～ 長崎大学病院 循環器内科 助教 佐藤 大輔	12 (1.0)	◇主催 都城心臓血管講話会 ◇共催 日本イーライリリー(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) (連絡先) 都城市北諸県医師会 ☎0986-22-0711
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 7月7日(金) 19:00～20:00 延岡市コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb	HPVワクチン接種の重要性と9価HPVワクチンについて 宮崎県立看護大学 専門基礎分野 教授 川越 靖之 宮崎県産婦人科医会 会長	11 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 MSD(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
宮崎県医師会産業医研修会 7月8日(土) 14:30～16:30 県医師会館 参加費:2,000円	安全快適職場に向けた職場巡視のポイントup to date 串間市民病院 院長 江藤 敏治 基礎研修・生涯研修の实地研修会:2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
佐土原地区医師会 学術講演会 (Web講習会) 7月12日(水) 19:00～20:10 シーガイアコンベンションセンター ※受講は現地またはWeb	CKD(慢性腎臓病)の重症化予防と地域連携について 古賀総合病院 副院長・腎センター長 久永 修一	24 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※協和キリン(株) ☎0985-22-8801
宮崎県医師会産業 医研修会 7月12日(水) 19:00～21:00 県医師会館	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡小児科医 会学術講演会 (Web講習会) 7月13日(木) 18:50～20:30 KITEN宮崎8階 会議室 ※受講はWebのみ	かかりつけ医が考えるこどもたちの睡眠 はながしま診療所 澤田 一美 ----- 神経発達症群と睡眠 都城新生病院 児童精神科 部長 河野 美帆	20 (0.5) 72 (0.5)	◇主催 宮崎市郡小児科医会 ◇共催 ※ノーベルファーマ(株) ☎080-6842-3199 (株)アトル
宮崎県医師会産業 医研修会 7月14日(金) 19:00～21:00 県医師会館	石綿(アスベスト)の労働衛生環境対策 ～建築物解体等を中心に～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
ALL MIYAZAKI 総合診療サマーセ ミナー (Web講習会) 7月15日(土) 14:00～17:00 まちなかキャンパス ※受講は現地またはWeb	症例検討/ショートレクチャー 県立宮崎病院 総合診療科 他	13 (3.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部地域 医療・総合診療医学講座 ☎0985-85-9809
第242回宮崎県泌尿 器科医会 7月20日(木) 18:50～20:15 宮崎観光ホテル東 館2階『初雁の間』	前立腺癌のプレジジョンメディシン 名古屋大学 医学系研究科 病態外科学講座 泌尿器科学 教授	64 (1.0)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 アストラゼネカ(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 7月20日(木) 19:00～21:00 県医師会館	両立支援の実際(がんを中心に) 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和5年度第2回 医療安全管理・感 染対策講演会 7月21日(金) 17:00～18:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	【専門医共通講習－医療安全(必修)：1単位】 しなやかな現場力で成功を確かなものにする 社会安全研究所 技術顧問 立教大学 名誉教授	7 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属 病院医療安全管理部 (連絡先) 宮崎大学医学部附属 病院医療人育成課卒 後臨床研修係 ☎0985-85-1864
令和5年度宮崎県 外科医会宮崎県整 形外科医会宮崎県 医師会労災部会合 同学会 7月22日(土) 17:00～18:00 県医師会館	障害における保険・福祉サービス ～労災や医療における義足・高次脳機能障害などの事 例を含めて～ 宮崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部 教授	13 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第176回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 7月24日(月) 19:00～20:20 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	Brugada症候群と早期再分極症候群 ～病態と治療のトピックス～ 大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 教授 高橋 尚彦 他	0 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 日本ライフライン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 7月25日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	企業における受動喫煙防止対策を効果的に進めるノウハウ 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡内科医会学術講演会 (Web講習会) 7月25日(火) 19:00～20:00 宮崎市郡医師会館1階 ※受講は現地またはWeb	宮崎県から子宮頸がんを撲滅するために 宮崎県産婦人科医会 会長 宮崎県立看護大学 教授 川越 靖之	53 (1.0)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 宮崎県内科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
宮崎県医師会産業医研修会 7月26日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
アトピー性皮膚炎学術講演会 (Web講習会) 7月26日(水) 19:00～20:30 宮崎大学医学部講義室105 ※受講は現地またはWeb	当院でのアトピー性皮膚炎治療について(仮) 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 助教 西川 陽太郎	26 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※大塚製薬(株) ☎0985-24-2287
	アトピー性皮膚炎と食物アレルギー ～アトピー性皮膚炎におけるモイゼルト軟膏の活用方法を含めて～ 島根大学医学部 皮膚科学講座 准教授 千貫 祐子	26 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
第1回慢性肺炎診療セミナーin宮崎 (Web講習会) 7月27日(木) 18:30～20:00 宮崎観光ホテル東館2階「日向」 ※受講は現地またはWeb	アルコール依存症者への対応 ～身体科との連携を含めて～ 宮崎県精神保健福祉センター 所長 宮崎県立宮崎病院精神医療センター 医長 宮崎大学医学部 医学臨床教授 直野 慶子	68 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ヴィアトリス製薬(株) ☎080-5001-3917
	身近にある肺炎疾患～診断から治療まで～ 鹿児島大学病院 光学医療診療部 准教授 橋元 慎一	73 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 7月28日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人材科学研究所 代表 工藤 智徳 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講演会(Web講習会) ～第3回県北腫瘍循環器講演会～ 7月28日(金) 19:00～20:10 エンシティホテル延岡 ※受講は現地またはWeb	がん治療における循環器マネジメントの重要性 佐賀大学医学部 内科学講座 血液・呼吸器・腫瘍内科 教授 木村 晋也	74 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和5年度宮崎県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会 (Web講習会) 7月29日(土) 13:45～15:30 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	最近の国の医療政策の動きと今後の展望 厚生労働省医政局総務課 保健医療技術調整官 矢野 好輝	9 (1.0)	◇主催 宮崎県プライマリ・ケア研究会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県内科医会学術 講演会～COVID-19 診療と抗ウイルス 薬の実践について～ (Web講習会) 8月3日(木) 19:00～20:10 ホテルJALシティ 宮崎2階「オルソ」 ※受講は現地また はWeb	COVID-19診療の現状 ～実臨床下における抗ウイルス薬の使用経験と投薬意義～ りんくう総合医療センター総合内科・ 感染症内科 部長 兼 感染症センター長 倭 正也 他	8 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041
宮崎県医師会産業 医研修会 8月9日(水) 19:00～21:00 県医師会館	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月10日(木) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	石綿(アスベスト)の労働衛生環境対策 ～建築物解体等を中心に～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月22日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月23日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場でみられるうつ病とその対応 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
日医かかりつけ医 機能研修制度 令和 5年度応用研修会 (日医TV会議) 8月27日(日) 10:00～17:25 県医師会館	今後の新興感染症を踏まえた感染対策 国立国際医療研究センター 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	介護保険制度における医療提供と生活期リハビリテーション 日本医師会 常任理事 江澤 和彦	10 (1.0)	
	口腔・栄養・リハビリテーションの多職種協働による 一体的取組 東京医科歯科大学 地域・福祉口腔機能管理学分野 教授 松尾 浩一郎 他	13 (1.0)	
	日常診療で留意する皮膚科・眼科・耳鼻科の症候 浅井皮膚科クリニック 院長 浅井 俊弥 他	11 (1.0)	
	尊厳の保持と自立支援のための認知症ケアと生活支援 認知症介護研究・研修東京センター センター長 山口 晴保	29 (1.0)	
	症例検討 ～意思決定を尊重した看取り/フレイルの改善へ向けた 取組～ 多摩ファミリークリニック 高木 暢 他	15 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月30日(水) 14:00～16:00 県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師獣医師 連携セミナー 9月1日(金) 19:00～21:00 県医師会館	SFTS：10年の小括とこれからの課題 山口県立総合医療センター 血液内科診療部長 高橋 徹	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎ワンヘルス研究会 ☎0985-24-4181 ◇共催 宮崎大学産業動物防 疫リサーチセンター
	SFTSの自然宿主の探索 国立感染症研究所 獣医科学部 部長 前田 健	8 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 9月8日(金) 19:00～21:00 県医師会館	事業場におけるストレスと精神障害(1) 産業保健相談員 ウエダメンタルクリニック 院長 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	69 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月13日(水) 19:00～21:00 県医師会館	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月15日(金) 19:00～21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	76 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月26日(火) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

お知らせ

地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組めます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

診療メモ

臨床現場で遭遇する倫理的「ジレンマ」の
特性とその対処法

宮崎大学医学部医学科 社会医学講座生命・医療倫理学分野
宮崎大学医学部附属病院 中央診療部門臨床倫理部（併任）

いた い こういちろう
板 井 孝一郎

「ジレンマdilemma」という言葉には、注意して欲しいことがあります。それは、単なる「悩み」とは異なる、ということです。まずは以下、事例①を考えてみてください。

<事例①>

在胎23週1日、498gで出生した超低出生体重児でApgarスコア3/8、出生直後から新生児呼吸窮迫症候群の診断で人工呼吸管理中。未熟児動脈管開存症（PDA）に対しては、インドメタシン静注療法を1クール実施し、動脈管の閉鎖を確認。日齢3、軽度の脳室内出血をきたしたが全身状態は安定。日齢6、動脈管が再開存したため、インドメタシン静注療法を1クール実施したが、効果は不十分で閉鎖に至らず。主治医の判断としては、外科的アプローチによって十分改善は見込めると判断し、複数の医師を含む多職種カンファレンスを経て、動脈管結紮を実施する方針とした。そのことをご両親に説明したが、「子どもに痛い思いをさせたくない」と不安を表出し、結紮術に同意してくれず、強く反対している。「子どもの最善の利益」のためには、どうすることが倫理的にも最もよいのだろうか？

この事例①において、医療者が直面している

状況を「倫理的問題」や「倫理的悩み」と表現することはもちろん間違っていない。ですが、「倫理的ジレンマ」と表現することは実は正確ではありません。この場合の「子どもにとっての最善」は「動脈管結紮を実施すること」ですが、それが実現できないのは「両親が反対している」ためなので、医療スタッフが直面している「問題」や「悩み」を「解決する」ための方策としては、「両親の心情に寄り添い、共感しながらも、しっかり説明をして差し上げること」となります。したがって、「お子さんの命が大事ですから！」といった、いわゆる「正論」ではなく、また形式的で抽象的な「人権重視」論に基づいて「命を蔑ろにするつもりですか！」などのような、ご両親の想いを一方的に否定することのないように配慮する「ノン・テクニカルスキル」としてのコミュニケーション・スキルを発揮することが、この事例①の「解決策」と言えます。その結果、ご両親が納得してくだされば、医療スタッフの「悩み」も解消し、ある意味ではスッキリすることにもつながります。では、次の事例②はいかがでしょうか？

<事例②>

日齢10、感染症によるCRPの上昇、血小板の

低下がみられ、動脈管が再開存したことによる重度の脳室内出血が起こり、腎機能障害と考えられる乏尿も認めた。主治医からは「お子さんの状態が不安定になり、動脈管が前にも増して太くなっていること、心臓に大きな負担がかかっている状況であること、さらには脳の出血も拡大していること」が説明されたが、両親はどうすることがいいのか分からないとの反応。日齢14、CRPは上昇傾向にあり、腹部は膨満、動脈管の開存は続いており、消化管穿孔のリスクも高まってきたため、主治医からは、今の状況での外科的介入は、かえって頭蓋内出血を広範囲にひろげてしまう可能性があるため、手術適応は「標準的治療」と言える段階ではなく、ご両親のお気持ちや価値観を尊重しながら決定する「選択的治療」になっていくのではないかとの見解が示されたが、命を救う可能性に賭けるべきであるとの意見もあり、医療者のあいだでも方針が一致しない。「子どもの最善の利益」のためには、どうすることが倫理的にも最もよいのだろうか？

もちろん事例①でも、両親の心情に寄り添いながら説得すること自体も、なかなかうまく行かないこともあるので、その際に「悩み」や「問題」が生じることはあります。しかし、「子どもにとっての最善」が何であるかは、ほぼ「正解」が見えており、なんとかご両親も納得していただけて「動脈管結紮」が実現できたなら、その場合には「問題」や「悩み」は解決・解消し、医療従事者もスッキリすることができます。

ところが事例②では、「外科的介入をすること」を選択しても、脳室内出血の増悪や消化管穿孔も予見されていたからこそ、もしそうなっ

たことが原因で死亡したらスッキリしないでしょうし、反対に「外科的介入をしないこと」を選択しても、「命を失う」ことになるためスッキリしません。このように「ジレンマ」とは「二律背反（相反する2つの事柄が背中合わせのように矛盾している状態）」とも表現されるような状況を意味していて、「どちらかを選ばなくてはならないが、どちらを選んでもスッキリ解決しない」という点が、単なる「悩み」とは異なる「ジレンマ dilemma（※イギリス英語では「ダイレンマ」と発音します）」の特性です。

こうした「ジレンマ」に直面したときにこそ大切なのが、「独りで抱え込まないこと」です。その理由は、たとえ「善意」であっても「これこそが患者さんにとってよいことだ」という「思いやり」は、容易に「思い込み」に変貌してしまうということ、そしてそこに「独善のワナ」が仕掛けられているからなのです。時には責任感の強いスタッフほど倫理的な「ジレンマ」を独りで解決しようと抱え込んでしまっ、バーン・アウト（燃え尽き）してしまうこともあります。現場では「キレイごと」や「理想論」では解決の糸口が見出せません。繰り返しますが、「独り歩きした善意」は「独善」になってしまいます。「独善」に陥ることを防ぎ、スタッフ同士がお互いを支えあいながら、「どちらかを選ばないといけない」というストレスにさらされながらも勇気をふり絞って「決断」した「結果責任」を、たった独りの医師が背負うことのないように、多くの医療現場で「臨床倫理サポート」の体制が整備されていくことを願って止みません。

宮大医学部学生のページ



部活動紹介 宮崎大学医学部ラグビー部

宮崎大学医学部 医学科4年 ラグビー部主将 眞 木 諒 太

こんにちは。宮崎大学医学部ラグビー部です。突然ですがラグビーというスポーツをご覧になったことはあるでしょうか。2015年、2019年でのラグビーワールドカップで話題になり、ニュースなどでご覧になった方も、日頃より楯球のみを愛するラグビー狂信者の方もあると思います。このたびはそんなラグビーについて、そして宮崎大学医学部ラグビー部について紹介させていただきます。

ラグビーは、基本的にはボールを持ったプレーヤーが敵プレーヤーのディフェンスを突破し、敵陣地の地面にボールを付ける「トライ」をすることで得点を得るスポーツです。これだけ聞くと、ガチムチのゴリラのようなパワーのある選手が一番強いのではないかと思います。が、実際は多くのルールや戦略があり、そのイメージとは裏腹にかなり頭を使うスポーツです（しかし実際にゴリラのような選手は強いですが…）。私自身、大学からラグビーを始めましたが、最初はルールの多さに圧倒されたのを覚えています。しかし、ラグビーの魅力はそのルールの多さにしても、ありあまるほどの自由度の高さです。約100m×50mのフィールドで、走るもよし、パスするもよし、敵に向かって突っ込むもよし、蹴るもよし、とさまざまなプレー

をすることができます。また、ラグビーは15人対15人で行うスポーツで、これはすべてのスポーツの中で最もプレー人数が多い競技と言われています（最近の医学部の試合は13人や12人で行うことが多いですが）。そのため、試合中のコミュニケーションがとても盛んなスポーツであり、15人という多くの人数が共同して相手陣地に攻め入る、またはディフェンスを行うため、試合中も会話が絶えることはありません。そしてトライを取ったときやピンチを凌いだときは15人全員で喜び、試合が終わった後は「ノースайд」の精神で、試合中のエキサイトしすぎたプレーもすべてを水に流し、敵も味方も関係なく互いを尊重します。私はこの白熱した中でも冷静に、紳士的な心を忘れないラグーマンの精神もラグビーの大きな魅力であると思います。

さて、宮崎大学医学部ラグビー部は現在部員数37名で、週3回清花グラウンドで練習を行っています。主なイベントは九州・山口医科学学生体育大会（九山大会）、西日本医科学学生体育大会（西医体）、九州メディカルセブンスと大きな大会3つに加え、キャンプや旅行、学祭などの楽しいイベントも充実しております。ラグビー部のモットーは「強くて楽しい部活」であり、普段の練習や大会は真剣に取り組み、それ

以外の時間は大いに学生生活を楽しむことを大切にしています。つい先日の5月のゴールデンウィークでの九山大会では、練習の成果もあり、決勝は豪雨で行えなかったのですが、同率優勝という形で締めくくることができました。コロナの影響もあり、九山大会は3年連続で開催できていなかったのも、久しぶりの公式戦で優勝することができて大変嬉しく思います。次の公式戦は8月にある西医体となるので、チーム一丸となり優勝を狙いたいと思います。

今年はコロナの影響による大会の中止もなく、練習も満足に行うことができ、またラグビーワールドカップの存在もあり、ラグビー部は盛り上がっております。ありがたいことに新入生も9人入部し、大所帯の部活となってきました

た。練習には真摯に、勝つ姿勢で取り組み、楽しさも忘れない、「強くて楽しい部活」を目指し励もうと思います。また、余談ではありますが、今年のラグビーワールドカップは私自身とても楽しみであり、白熱すること間違いなしです。皆様、片手にハイネケン（ビールの名称）を持ち、「ワンチーム」で日本代表を応援していただけたら幸いです。

最後になりましたが、OB・OGの先輩方、宮崎県医師会、宮崎県の県民の皆様の多大なご支援によりこのような充実した部活動、学生生活を行わせていただいております。部員一同感謝申し上げます。今後とも宮崎大学医学部ラグビー部をよろしくお願いします。



ノーサイドの様子



九山大会の写真

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。か、所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
5月30日	・医療機能情報提供制度の全国統一的な検索・情報提供サイトへの移行に係る医療機関等情報支援システムの新規ユーザ登録申請について ・医療用物資の国備蓄品の売却について（その3） ・ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について ・麻しんの国内における感染伝播事例を踏まえた麻しんの定期的予防接種の勧奨等について（協力依頼） ・日本学校保健会が主催する研修会の実施要項について（送付） ・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬の取扱いについて（所有権の移転および再譲渡） ・新型コロナウイルス感染症治療薬/発症抑制薬の使用期限の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症の入院調整に係る相談窓口について
6月1日	・新型コロナの感染状況に応じた注意喚起等に係る周知について（依頼）
6月2日	・新興感染症対応に当たっての実態調査について（依頼） ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う啓発資材について（第三報） ・「新型コロナウイルス感染症に係る病床設置の医療法上の手続の取扱いについて」の一部改正について ・医療法等において定期的に実施することが求められる業務等について ・「再生医療等製品の電子化された添付文書の記載要領について」等の一部改正について ・薬用歯みがき類「チェック・アップコドモA」の使用後に発現したアナフィラキシーについて（依頼） ・令和5年度スポーツによる地域活性推進事業（運動・スポーツ習慣化促進事業「医療と連携した地域における運動・スポーツの習慣化の取組」）の追加募集における協力依頼について ・経済産業省による省エネルギー投資促進支援事業費補助金の2次公募期間等について（情報提供） ・持分の定めのない医療法人への移行に関する計画の認定制度（認定医療法人制度）の延長について ・令和5年度税制改正を踏まえたインボイス制度に関する周知等について ・インボイス制度の開始に向けた周知等について ・「事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する件」の周知について ・エムボックスに関する情報提供及び協力依頼について ・第21回九州地区健康教育研究大会（熊本大会）の開催について（依頼） ・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について

送付日	文 書 名
6月6日	・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項について（送付） ・第67回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和5年度九州学校検診協議会（年次大会）等の開催について（ご案内） ・「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」の一部改正について ・看護職員処遇改善評価料に係る施設基準等の取扱いについて ・宮崎県における外来対応医療機関の指定について（通知） ・ファイザー社の新型コロナワクチン（オリジナル株とオミクロン株（BA.4/5）の2価ワクチン）の配送等について ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更を踏まえた外国人患者受入れに関する体制の整備について（周知・協力依頼） ・「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・全国医師会研修管理システムの一部改修について ・低出生体重児の身体発育曲線について（情報提供） ・定期健康診断等における血中脂質検査の取扱いについて ・「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」の公布について ・乾燥ヘモフィルスb型ワクチン（破傷風トキソイド結合体）に係る「使用上の注意」の改訂について ・令和5年度（第57回）臨床検査精度管理調査の実施について ・令和5年度結核予防技術者地区別講習会の開催について
6月7日	・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害に係る介護報酬等の取扱いについて ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その1）及び（その2） ・愛の予防接種助成事業補助金交付要綱の改正等について（通知） ・熱中症予防の普及啓発・注意喚起について ・令和4年職場における熱中症の発生状況（確定値）等について ・「「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律」の一部の施行等について（通知）」等の発出について ・令和5年度厚生労働省委託事業「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」「在宅医療提供機関におけるBCP（事業継続計画）策定支援研修」の開催について（依頼） ・令和5年度事業継続計画（BCP）策定研修に係る受講者の募集について（依頼） ・本人の意向を尊重した意思決定のための研修会「相談員研修会」及び「在宅医療・施設ケア従事者版相談員研修会」の開催について（依頼） ・「定期健康診断等及び特定健康診査等の実施に係る事業者と保険者の連携・協力事項について」の一部改正について ・日本医師会サイバーセキュリティ支援制度拡充について ・「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第6.0版」の策定について

送付日	文 書 名
6月9日	・材料価格基準の一部改正等について ・令和5年度における外来データ提出加算等の取扱いについて ・国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針の全部改正について ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号に伴うオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（その3） ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について
6月13日	・検査料の点数の取扱いについて ・適正な移植医療の推進について ・医療の質向上のための体制整備事業への協力について（医療の質可視化プロジェクト） ・令和5年度厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業「本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 相談員研修会」及び「本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 在宅医療・施設ケア従事者版 相談員研修会」の実施について ・令和5年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集への協力依頼について ・「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律」の公布について ・地域包括支援センターの職員等を対象とした家族介護者支援に関する研修カリキュラム及び家族介護者のつどいの場を立ち上げるためのマニュアルについて（周知） ・令和5年度特定医療費（指定難病）受給者証の更新に係る臨床調査個人票記載上の留意点について ・日本医師会員向けキャッシュレスサービスの推進について ・オンライン資格確認等システムの表示等について ・社会的重要なインフラ自衛的燃料備蓄事業の周知依頼について ・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・ユルトミリス点滴静注300mg、同HI点滴静注300mg/3mL及び同HI点滴静注1100mg/11mLの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について ・ラナデルマブ製剤（銘柄名：タクザイロ皮下注30mgシリンジ）及びネモリズマブ製剤（銘柄名：ミチーガ皮下注用60mgシリンジ）の在宅自己注射について ・宮崎県における外来対応医療機関の指定について（通知） ・令和5年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）に関するQ&A（第3版）について ・「「感染症法に基づく「医療措置協定」締結等のガイドライン」について」及び「感染症法の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律による改正後の医療法に基づく協定等について」について ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について（その2）
6月15日	・「国立健康危機管理研究機構法」及び「国立健康危機管理研究機構法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律」の公布について

送付日	文 書 名
6月15日	・武田社ワクチン（ノバボックス）の配分等について（その8） ・ヒアりに刺された場合の医療的留意事項について（再周知） ・「病原微生物検出情報」の送付について ・厚生労働省 令和5年度補助金事業『医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業』『医療通訳配置等間接補助事業』実施団体（医療機関）の公募について ・令和5年度団体契約を通じた電話医療通訳の利用促進事業実施団体の2次公募について ・がん検診実施機関の登録及び精密検査機関の登録について（依頼） ・小児慢性特定疾病医療支援の更新に係る留意点について（依頼） ・ノルトリプチリン塩酸塩製剤におけるニトロソアニン類の検出への対応について ・半導体不足の影響に伴うHPKIセカンド電子証明書のみ先行発行について
6月20日	・女性活躍・男女共同参画の重点方針2023（女性版骨太の方針）について ・「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～医療機関・事業者向け～」について ・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について ・「使用上の注意」の改訂について ・薬剤師確保計画ガイドラインについて及び薬剤師偏在指標等について ・成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの強化のための研究について（協力依頼） ・医療用物資の国備蓄品の売却について（その4） ・日本学校保健会が主催する研修会の実施要項について（送付） ・タンザニア連合共和国及び赤道ギニア共和国におけるマールブルグ病の終息について ・宮崎県における外来対応医療機関の指定について（通知） ・高齢者施設等における経口抗ウイルス薬（ラゲブリオカプセル及びパキロビッドパック）の活用方法について（再改定）
6月23日	・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について（周知） ・ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて（通知） ・宮崎県における外来対応医療機関の指定について（通知） ・感染症法に基づく検査、宿泊施設確保措置協定締結等のガイドラインについて ・今後の新型コロナワクチン接種について（その5） ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令附則第四項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第二条の規定による改正前の予防接種法施行規則の一部を改正する省令の公布について ・医療機関等との協定に係る事前調査の実施について（依頼） ・厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会のご案内について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その50）」の送付について ・「ケアプランデータ連携システム」の利用事業所状況の掲載について（情報提供） ・令和5年度ICTを活用した在宅看取りに関する研修事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」の開催について

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryu-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真，その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真，その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介，読みどころ，執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真，書物の表紙写真

■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」，新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する，カット・イラストも随時募集しています。

～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で，日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は，各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には，修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ，法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など，他の団体，個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など，特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し，法律で禁止されている行為など，その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認，難解，過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

あとかき



それを75年間非公開にしようとして裁判となり敗訴、令和4年3月にその内容が公開されました。そこには42,086件の有害事象が列挙され、1,223名が死亡した事実が記載されていたようです。

日本には予防接種健康被害救済制度があります。令和5年6月9日公表分によると、新型コロナワクチン接種による健康被害申請の受理数が累計7,772件で、そのうち認定2,809件、否認398件、保留90件で、未審査4,475件となっているようです（死亡一時金などの支給認定者数67人）。ちなみに、新型コロナワクチン以外での日本国内すべてのワクチンによる健康被害の認定者数は1977年2月～2021年12月の約45年間で3,522人です（死亡一時金などの支給認定者数151人）。

海外ではあまり使われなくなっているmRNAワクチンですが、現在、mRNAワクチンを製造する工場が福島県南相馬市に作られ、その他日本国内10数か所に工場建設が計画されているようです。（高橋）

* * * * *

先日、娘の習い事の送迎で時間が浮いたので、M社のディーラーを訪れてみました。久しぶりに車屋さんに行ったのですが、展示車がすべてEVになっていました。近未来的な感じはするものの、全部〇〇〇〇みたいで、なんかかっこ悪いというか、所有欲がかき立てられませんでした。僕のセンスが古いだけで、若者にはこれがカッコいいのかもしれませんが、思春期から青年期にスーパーカーブームを過ごし、頑張ってコレ買うぞ的なモチベーションがあった時代が懐かしく、ちょっぴりさみしくなりました。

（稲倉）

* * *

YouTube拳王チャンネルにはまっています。プロレスリングノアの拳王選手が2022年4月に開始しました。肉体的に特別強い選手ではないのですがファンへ熱いメッセージが伝えられる選手です。対戦相手、他団体、OBに噛みつき、今では団体の顔になっています。プロレスは闘いもですがその周囲にある物語が楽しいものです。業界を盛り上げようと頑張っている彼の姿に心を打たれています。（石田）

* * *

雨の多い時期となり、気分が鬱々としがちな気候が続いています。しかし、勤務医として働いていると、ずっと院内での業務が続くため、外の天気や温度・湿度を体感しないまま1日を過ごすことも少なくありません。勤務時間や当直業務の調整だけでなく、「心の働き方改革」として、四季を肌で感じる時間を作るのも大切なかなと思っている今日このごろです。（早川）

新型コロナウイルスが5類に分類され、おおむねコロナ前の生活に戻つつあるようですが、新型コロナウイルスに対するワクチン接種は現在も引き続き行われています。

ワクチン製造・販売を行っているファイザー社には「mRNAワクチンの副作用」に関する資料が存在し、

6月11日に宮崎大学医学部音楽祭が開催されました。ようやくコロナ前のように大きな規制もなく音楽祭が開かれ大変嬉しく思います。自分はすずかけ太鼓の一員として、演奏させていただきました。今回は曲の代表を務め、1か月半練習を重ねてきました。とても大変でしたが、本番は楽しく太鼓を叩くことができました。帰る際に、毎年楽しみにしているよと伝えてくれた地域の方がいて、それがとても嬉しかったです。太鼓を叩けるのも多くてあと2回ほどなので、頑張っていきたいです。（鍛冶川）

* * *

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてから早1か月が経ちました。これを機に各種イベントが再開され、コロナ禍で入学した私としては、大学生活とはこんなにも華やかなものだったのかと驚かされることばかりです。8月には初となる西医体への出場を控えており、楽しみでありつつも緊張・不安で胸がいっぱいです。よいご報告ができるよう精一杯頑張ります。（金城）

* * *

コロナにより3年間開催されていなかった同門会の懇親会出席のため福岡県久留米市を訪れた。コロナの影響で名物の屋台も姿を消し、飲屋街も様変わりし、マンションが乱立しており学生時代から新米医師時代を過ごした昭和の面影は全くななくなっていた。しかしあれから30年以上が経過し自身も65歳、街の景観が変化するのも当たり前かなと思う今日このごろである。（高木）

今月のトピックス

会長のページ 暑さに思う（熱中症）

温暖化の影響での最高気温の上昇と熱中症の話題です。現在でコレですと更に将来はいかばかりか？ 宮崎地方気象台によると、現状の対策のままで温室効果ガスの排出が続いた場合、今世紀末には気温が3.5℃以上上昇、猛暑日が30日以上になり、大雨の回数が2倍以上、雨の降らない日も増加すると予測されているそうです。

3 ページ

国公立病院だより 県立延岡病院

県立延岡病院の寺尾公成院長先生に現状の報告をいただきました。県立延岡病院には20年ほど前に2年近くお世話になりました。懐かしく拝見いたしました。

26ページ

診療メモ 臨床現場で遭遇する倫理的「ジレンマ」の特性とその対処法

板井孝彦先生に『臨床現場で遭遇する論理的「ジレンマ」の特性とその対処法』をご教授いただいております。具体例をあげての説明で理解しやすいように感じました。通常は選択肢の重要度が違うのでそこまで悩むことはありませんが、ひとりで抱え込まないこと、独善のワナに落ちないように気を付けてまいります。

70ページ

宮大医学部学生のページ 部活動紹介 宮崎大学医学部ラグビー部

医学部4年生ラグビー部主将の眞木諒太君にラグビー部の、更にラグビー自体の説明を行っていただきました。ルール之多さと、ありあまるほどの自由度について初めて知りました。自分が学生時代に所属していた合気道部はコロナ禍でなくなってしまったようでさみしい限りです。

72ページ

日 州 医 事 第887号 (令和5年7月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,
長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 鍛冶川雄登, 山本 樹, 境 笙太郎, 金城 由歩

担当副会長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)